

## 第3章 居宅サービス利用者調査



### 第3章 居宅サービス利用者調査

#### 1 対象者についての基本的事項

##### (1) 記入者

##### ア 記入者

表 2-1 記入者

(上段：件 下段：%)

調査数 (N)	宛名の本人	家族	その他	無回答
1837	870	779	16	172
100.0	47.4	42.4	0.9	9.3

アンケートの回答者は、「宛名の本人」47.4%に対し、「家族」が42.4%となっている。

##### イ 本人が回答できない理由

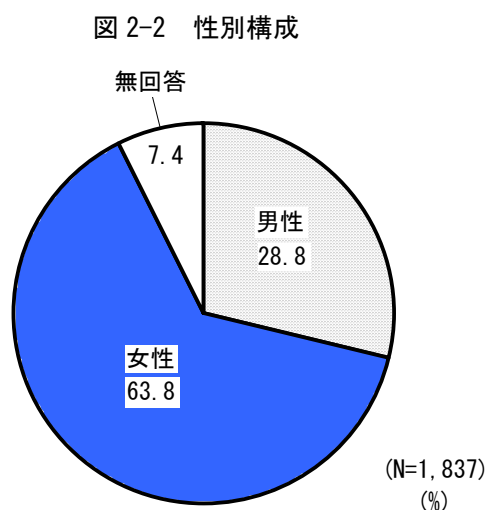
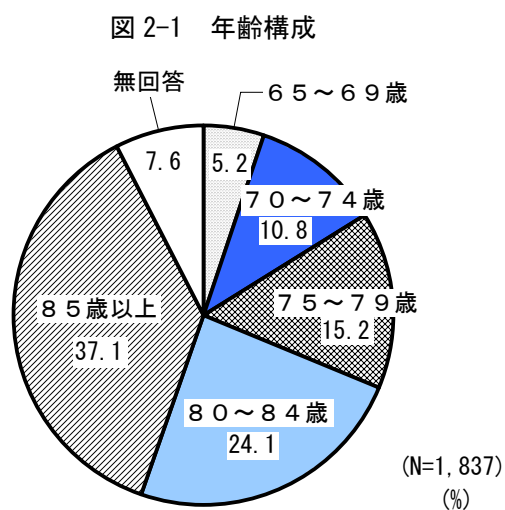
表 2-2 本人が回答できない理由

(上段：件 下段：%)

調査数 (N)	病院に入院中	老人ホームなど (介護保険施設に特別入所)	病气やけが	物が忘れがあり、 通が時々難しい、 意思疎通	認知症のため 意思疎通 がいつも難しい	障害(身体障害、 知的障害など)	別居・転居	答えたくない	その他	無回答
795	74	61	35	175	161	164	6	10	87	23
100.0	9.3	7.7	4.5	21.9	20.2	20.7	0.7	1.3	10.9	2.9

本人が回答できない理由としては、「物忘れがあり、意思疎通が時々難しい」が21.9%と最も多く、次いで「障害(身体障害、知的障害など)」(20.7%)、「認知症のため意思疎通がいつも難しい」(20.2%)がそれぞれ2割を超えている。

## (2) 年齢別・性別構成



調査対象者の年齢構成は、「85歳以上」が37.1%と最も多く、次いで「80～84歳」(24.1%)、「75～79歳」(15.2%)と、年齢が上がるほど割合も高くなっている。

性別構成については、男性28.8%、女性63.8%と、女性の方が35ポイント多くなっている。

## (3) 居住地域

### ア 居住地区

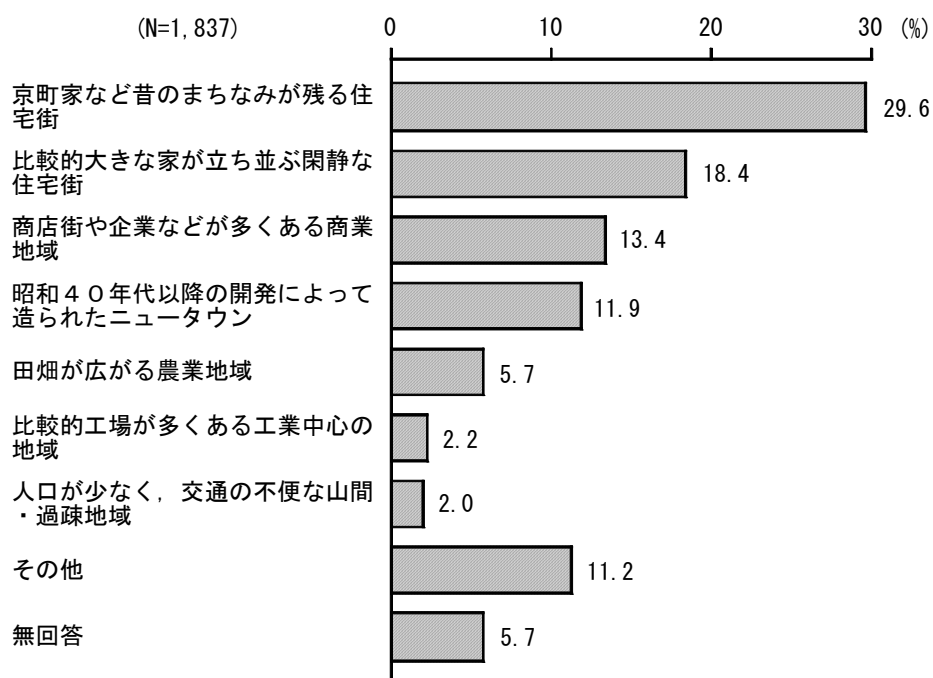
表 2-3 居住地区

調査数 (N)	(上段：件 下段：%)														
	北区	上京区	左京区	中京区	東山区	山科区	下京区	南区	右京区	西京区	洛西支所	伏見区	深草支所	醍醐支所	無回答
1837	180	126	220	155	86	134	105	96	247	131	11	268	19	20	37
100.0	9.8	6.9	12.0	8.4	4.7	7.3	5.7	5.2	13.5	7.2	0.6	14.6	1.1	1.1	2.0

居住地区は、「左京区」「右京区」「伏見区」の3区が10%を超えている。

## イ 地域の特性

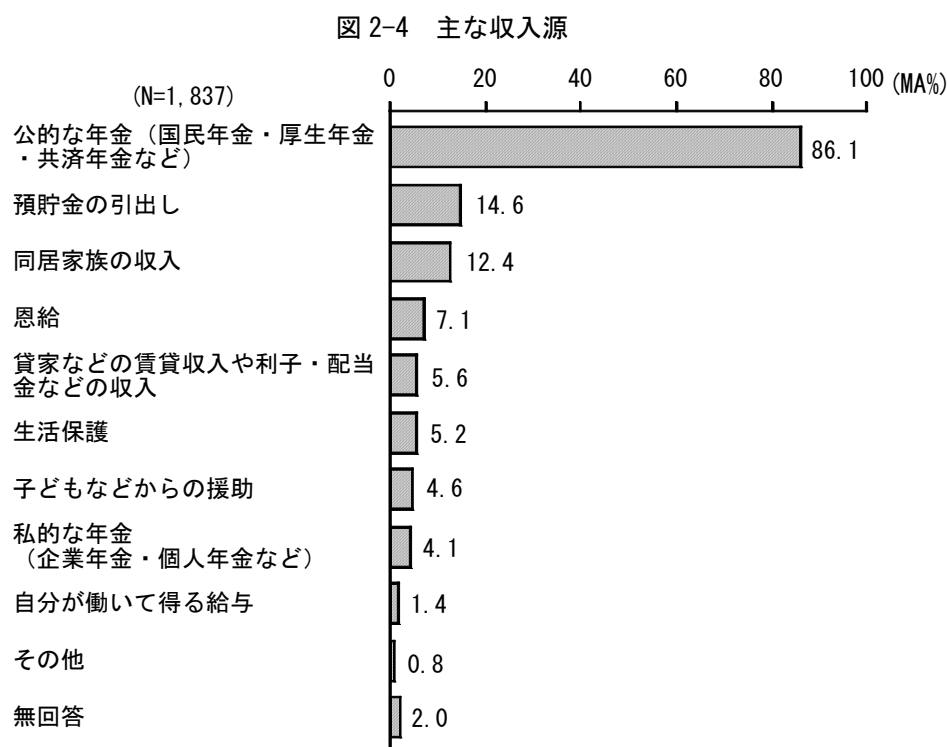
図 2-3 地域の特性



住まいの地域については、「京町家など昔のまちなみが残る住宅街」が29.6%と最も多く、次いで「比較的大きな家が立ち並ぶ閑静な住宅街」(18.4%)、「商店街や企業などが多くある商業地域」(13.4%)となっている。

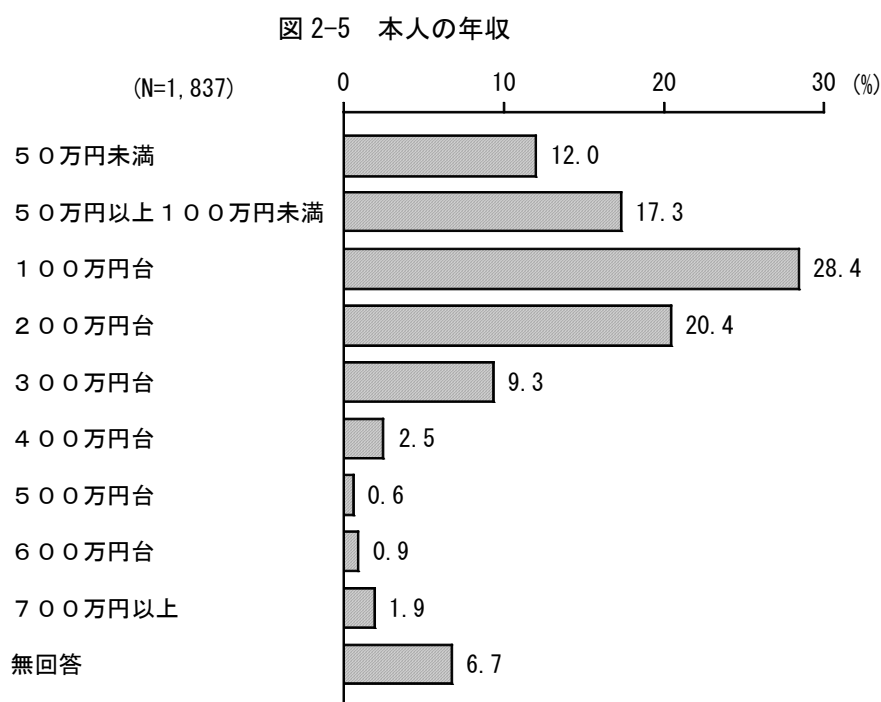
#### (4) 収入

##### ア 主な収入源



主な収入源については、「公的な年金（国民年金・厚生年金・共済年金など）」が86.1%で圧倒的に多く、次いで「預貯金の引出し」が14.6%、「同居家族の収入」が12.4%となっている。

##### イ 本人の年収

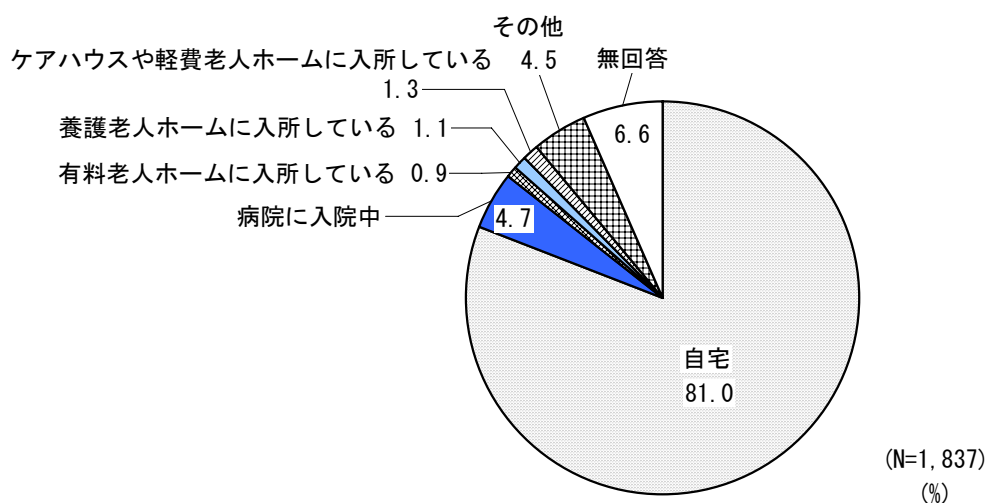


調査対象者本人の年収は、「100万円台」が28.4%と最も多く、次いで「200万円台」(20.4%)、「50万円以上100万円未満」(17.3%)となっている。

## (5) 住居形態

### ア 現在の居場所

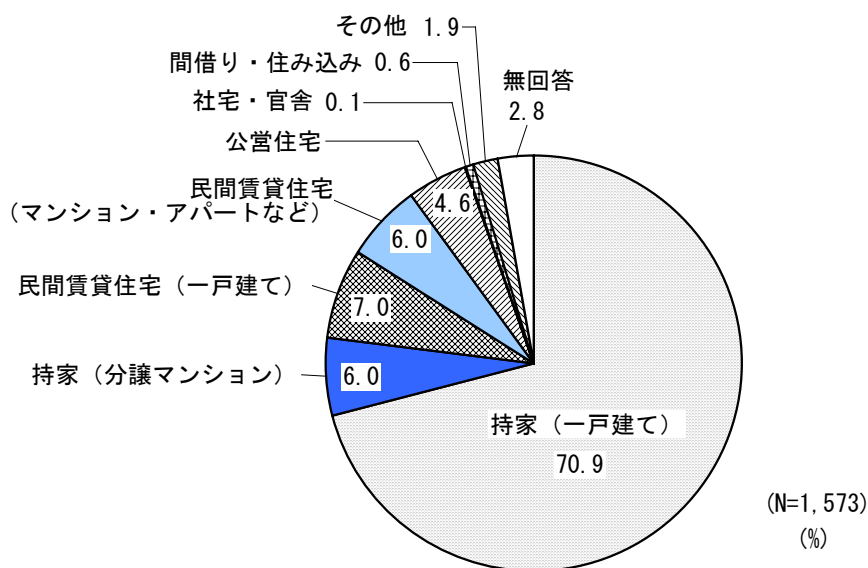
図 2-6 現在の居場所



現在の居場所としては、「自宅」が81.0%を占め、そのほかは「病院に入院中」(4.7%)、「ケアハウスや軽費老人ホームに入所している」(1.3%) などとなっている。

### イ 住まいの形態

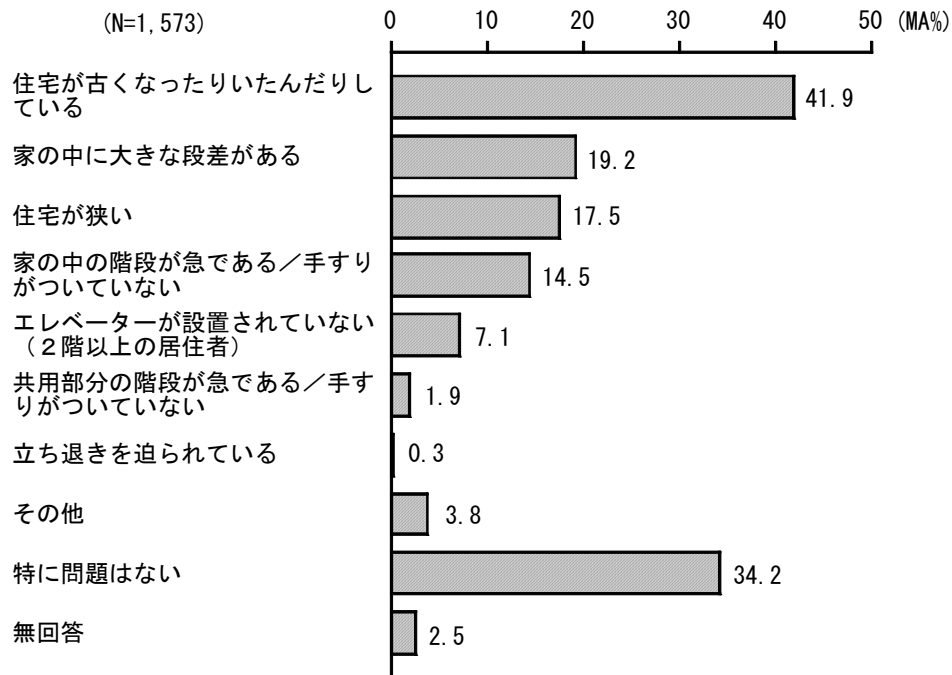
図 2-7 住まいの形態



自宅または入院中の人の住まいの形態は、「持家(一戸建て)」が70.9%と圧倒的に多く、そのほかは「民間賃貸住宅(一戸建て)」が7.0%、「持家(分譲マンション)」「民間賃貸住宅(マンション・アパート)」が共に6.0%となっている。

## ウ 住まいの状況

図 2-8 住まいの状況



住まいの状況については、「住宅が古くなったりいたんだりしている」が41.9%と最も多く、次いで「家の中に大きな段差がある」(19.2%)、「住宅が狭い」(17.5%)となっている。

表 2-4 住まいの形態別 住まいの状況

	調査数 (N)	住宅が古くなったりいたんだりしている	家の中に大きな段差がある	住宅が狭い	家の中の階段が急である／手すりがついていない	エレベーターが設置されていない (2階以上の居住者)	共用部分の階段が急である／手すりがついていない	立ち退きを迫られている	その他	特に問題はない	無回答
持家 (一戸建て)	1116	41.6	19.4	16.6	14.7	5.5	1.1	0.1	3.6	36.6	2.0
持家 (分譲マンション)	95	16.4	7.8	13.8	3.0	4.3	2.5	-	4.5	55.2	4.9
民間賃貸住宅 (一戸建て)	111	79.9	30.4	21.8	31.6	0.7	0.3	2.2	3.6	7.9	0.8
民間賃貸住宅 (マンション・アパートなど)	95	39.8	16.8	26.9	9.6	19.3	5.2	0.9	4.9	23.6	1.6
公営住宅	72	20.6	7.0	16.6	0.6	27.4	12.1	0.5	5.2	36.1	0.6
社宅・官舎	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
間借り・住み込み	10	25.4	37.0	11.5	17.6	17.6	-	-	-	17.6	20.0
その他	29	56.0	39.6	26.2	28.3	9.1	1.1	-	5.0	22.3	2.9
無回答	45	41.1	18.8	13.1	12.9	6.6	2.6	-	3.5	24.5	14.8
合計	1573	41.9	19.2	17.5	14.5	7.1	1.9	0.3	3.8	34.2	2.5

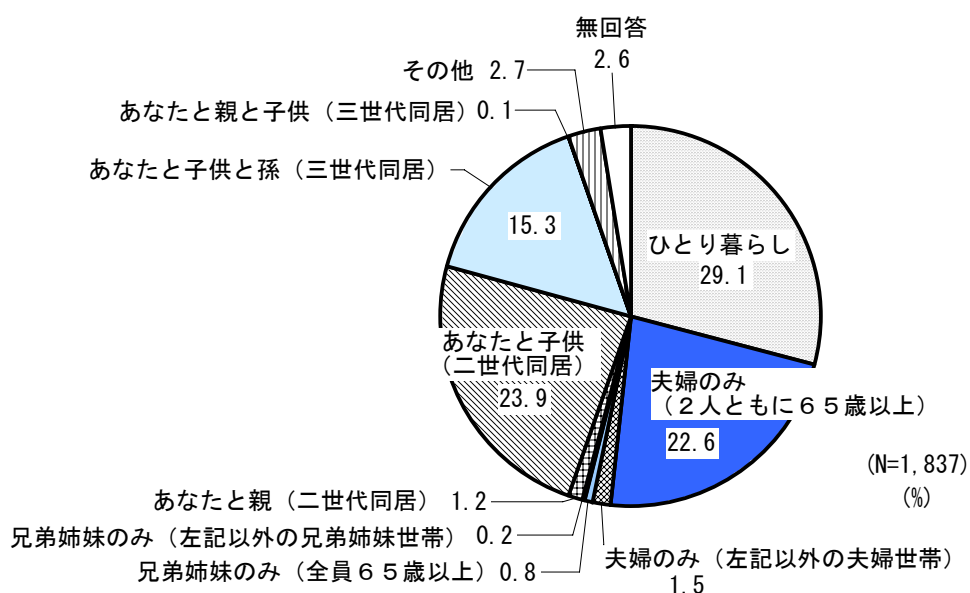
住まいの状況について住まいの形態別にみると、「住宅が古くなったりいたんだりしている」は民間賃貸住宅 (一戸建て) (79.9%) や持家 (一戸建て) (41.6%) など多く、「民間賃貸住宅 (一戸建て) では「家の中の階段が急である／手すりがついていない」や「家の中に大きな段差がある」で30%台となっている。



(6) 世帯の状況

ア 世帯構成

図 2-9 世帯構成



世帯構成は、「ひとり暮らし」が29.1%で最も多く、次いで「あなたと子供 (二世帯同居)」(23.9%)、「夫婦のみ (2人とも65歳以上)」(22.6%) となっている。

表 2-5 世帯構成 [未利用者との比較]

	調査数 (N)	ひとり暮らし	夫婦のみ (2人とも65歳以上)	夫婦のみ (左記以外の夫婦世帯)	兄弟姉妹のみ (全員65歳以上)	兄弟姉妹のみ (左記以外の兄弟姉妹世帯)	あなたと親 (二世帯同居)	あなたと子供 (二世帯同居)	あなたと子供と孫 (三世帯同居)	あなたと親と子供 (三世帯同居)	その他	無回答
居宅サービス利用者	1837	29.1	22.6	1.5	0.8	0.2	1.2	23.9	15.3	0.1	2.7	2.6
居宅サービス未利用者	670	20.7	31.8	1.7	0.8	0.2	1.1	26.8	10.9	0.2	2.4	3.5

世帯構成について未利用者と比較すると、「ひとり暮らし」は利用者のほうが8.4ポイント高く、「夫婦のみ (2人とも65歳以上)」は未利用者のほうが9.2ポイント高くなっている。

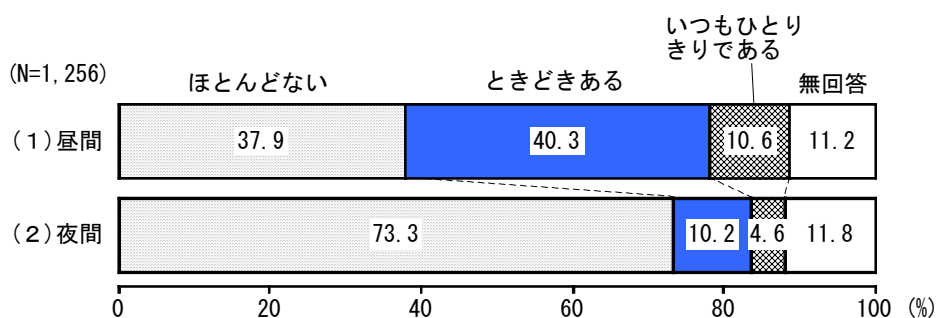
表 2-6 要介護度別 世帯構成

	調査数 (N)	ひとり暮らし	夫婦のみ(2人ともに65歳以上)	夫婦のみ(左記以外の夫婦世帯)	兄弟姉妹のみ(全員65歳以上)	兄弟姉妹のみ(左記以外の兄弟姉妹世帯)	あなたと親(二世代同居)	あなたと子供(二世代同居)	あなたと子供と孫(三世代同居)	あなたと親と子供(三世代同居)	その他	無回答
要支援 1	109	54.2	21.5	0.6	0.6	-	-	12.1	6.7	-	2.7	1.5
要支援 2	273	45.0	22.2	2.8	0.6	-	0.6	13.8	8.8	-	2.2	4.1
要介護 1	329	41.4	18.8	-	1.6	-	0.5	17.7	14.0	-	3.2	2.7
要介護 2	520	23.7	21.4	1.8	0.9	0.4	1.3	28.6	17.0	-	3.1	1.8
要介護 3	296	18.0	29.4	1.2	0.4	-	2.7	24.3	18.8	0.4	2.7	2.0
要介護 4	196	14.9	21.8	2.4	-	0.4	2.0	34.3	20.2	-	0.8	3.2
要介護 5	114	8.8	25.2	1.5	0.7	0.4	-	37.6	18.2	0.7	3.3	3.6
合計	1837	29.1	22.6	1.5	0.8	0.2	1.2	23.9	15.3	0.1	2.7	2.6

世帯構成について要介護度別にみると、「ひとり暮らし」は要介護度が重度になるほど割合が低く、「あなたと子供(二世代同居)」や「あなたと子供と孫(三世代同居)」は重度になるほど高くなる傾向がみられる。

イ 昼間独居等の状況

図 2-10 昼間独居等の状況



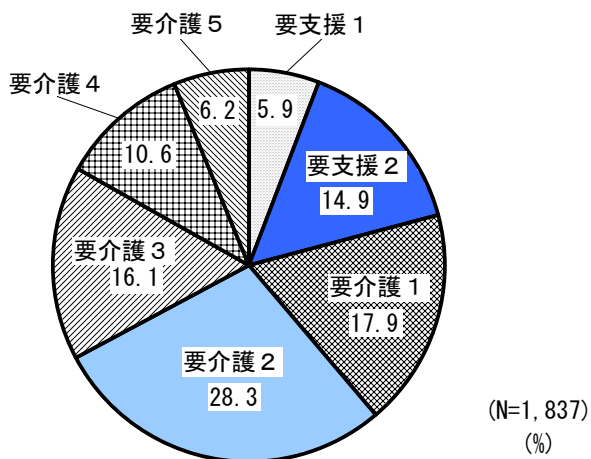
家族と同居している高齢者のうち、昼間、ひとりきりになることがある人は50.9%を占め、「いつもひとりきりである」は10.6%となっている。

同様に、夜間、ひとりきりになることがある人は14.8%であり、「いつもひとりきりである」は4.6%となっている。

(7) 要介護度とその変化

ア 要介護度

図 2-11 要介護度



調査対象者の要介護度は、「要介護 2」が28.3%と最も多く、次いで「要介護 1」(17.9%), 「要介護 3」(16.1%) となっている。

表 2-7 要介護度〔未利用者との比較〕

	調査数 (N)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
居宅サービス利用者	1837	5.9	14.9	17.9	28.3	16.1	10.6	6.2
居宅サービス未利用者	670	16.7	26.3	17.2	14.8	10.8	6.8	7.4

(%)

要介護度について未利用者と比較すると、要介護 1～4 は利用者のほうが多く、要支援 1～2 と要介護 5 は未利用者のほうが多くなっている。

表 2-8 性・年齢別 要介護度

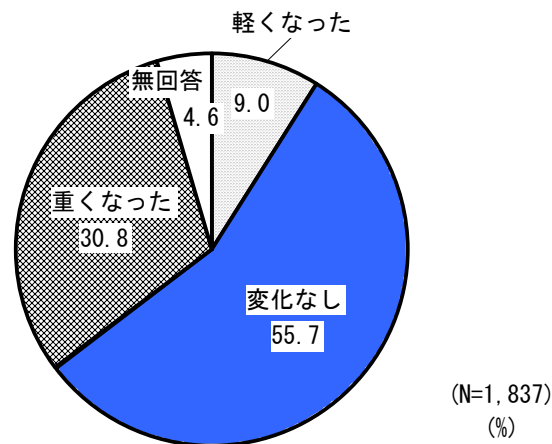
(%)

	調査数 (N)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
男性 (全体)	529	4.2	11.5	16.4	32.0	19.3	10.3	6.4
男性 65～69歳	40	1.7	10.7	17.8	29.1	17.5	15.9	7.3
70～74歳	84	4.7	10.2	14.8	27.8	23.6	11.3	7.5
75～79歳	110	4.2	14.7	16.0	27.3	22.1	11.4	4.2
80～84歳	144	4.1	12.4	19.6	33.8	16.1	7.6	6.4
85歳以上	150	4.6	8.5	14.1	37.0	18.5	10.0	7.2
女性 (全体)	1171	6.7	16.0	17.7	27.5	15.0	10.6	6.6
女性 65～69歳	55	3.0	14.0	16.1	33.7	12.7	11.5	9.1
70～74歳	115	8.9	15.6	13.8	32.2	13.1	9.6	6.9
75～79歳	168	8.3	25.5	20.1	20.8	12.5	7.5	5.5
80～84歳	298	10.0	16.3	19.0	29.6	10.5	9.8	4.9
85歳以上	532	4.2	12.8	17.3	27.0	19.0	12.2	7.5
無回答	140	6.3	20.1	25.2	19.8	13.2	12.4	3.0
合計	1837	5.9	14.9	17.9	28.3	16.1	10.6	6.2

要介護度を性別にみると、要介護2～3以外は女性のほうが高い。性・年齢別にみると、男性の80歳以上や女性の65～74歳は「要介護2」が30%台と高くなっている。

## イ 要介護度の変化

図 2-12 要介護度の変化



要介護度が以前に比べて「軽くなった」は9.0%、それに対して「重くなった」は30.8%と多くなっている。

表 2-9 要介護度別 要介護度の変化

	【サービス利用者】					【サービス未利用者】 (%)				
	調査数 (N)	軽くなった	変化なし	重くなった	無回答	調査数 (N)	軽くなった	変化なし	重くなった	無回答
要支援 1	109	25.5	53.0	8.8	12.7	112	19.2	54.5	12.8	13.5
要支援 2	273	16.6	55.3	20.6	7.5	176	18.0	58.3	14.4	9.4
要介護 1	329	8.1	65.1	21.5	5.4	115	13.2	61.8	19.1	5.9
要介護 2	520	6.3	57.1	33.9	2.7	99	12.2	44.6	37.8	5.4
要介護 3	296	7.8	48.6	39.2	4.3	73	9.8	37.8	47.6	4.9
要介護 4	196	3.6	49.2	45.6	1.6	45	9.1	23.4	63.6	3.9
要介護 5	114	1.8	55.1	40.9	2.2	50	2.7	41.9	55.4	-
合計	1837	9.0	55.7	30.8	4.6	670	13.9	50.4	28.4	7.3

要介護度の変化を要介護度別にみると、要介護度が重度になるほど「重くなった」の割合が高くなる傾向にある。割合は要介護 4 (45.6%) が最も高く、次いで要介護 5 (40.9%) となっている。

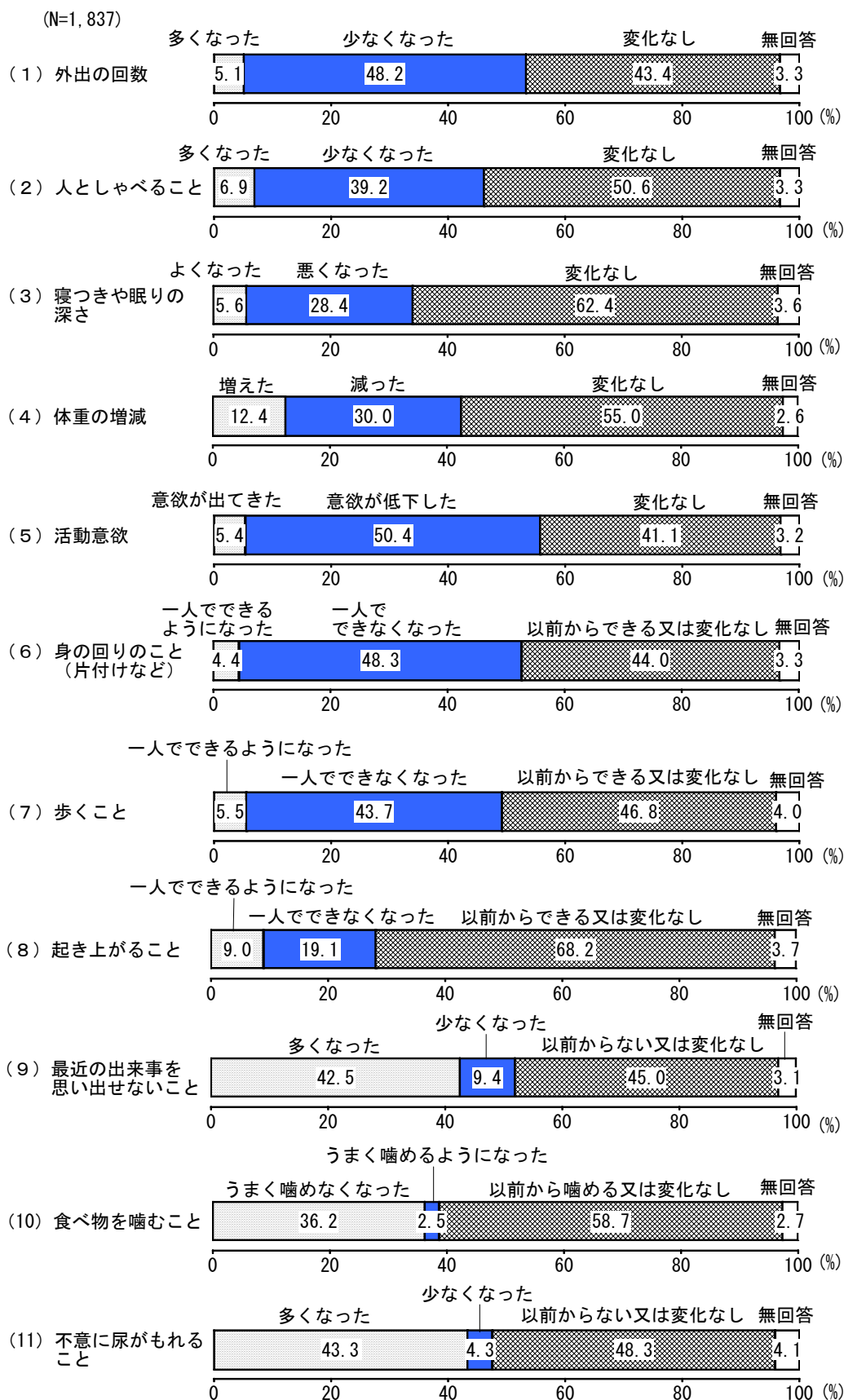
サービス未利用者と比較すると、要支援 1 では利用者の方が未利用者よりも「軽くなった」割合が高くなっている。一方、「重くなった」割合は、要支援 2 と要介護 1 は利用者のほうが高く、要介護 2 以上では未利用者のほうが高くなっている。

## 2 身体・生活の状況について

### (1) 最近半年間の心身の変化

#### ア 最近半年間の心身の変化

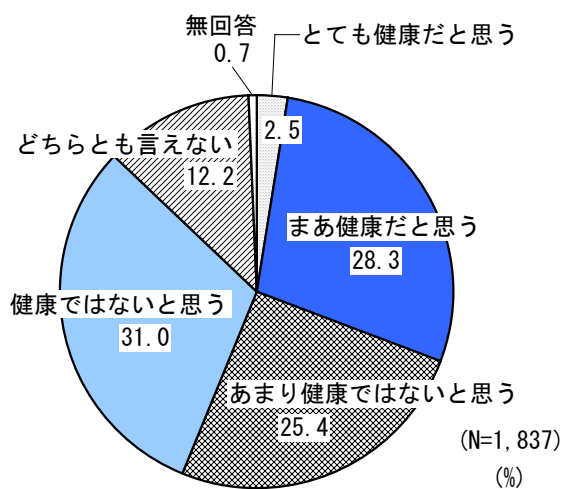
図 2-13 最近半年間の心身の変化



この半年間に心身の状態に変化が見られたかたずねたところ、『(3) 寝つきや眠りの深さ』『(8) 起き上がること』では「変化なし」が60%以上を占めているが、『(5) 活動意欲』は50%台、『(1) 外出の回数』『(6) 身の回りのこと（片付けなど）』『(7) 歩くこと』『(9) 最近の出来事を思い出せないこと』『(11) 不意に尿がもれること』では、低下や悪化を表す回答が40%台と多くなっている。

## イ 日ごろの健康状態

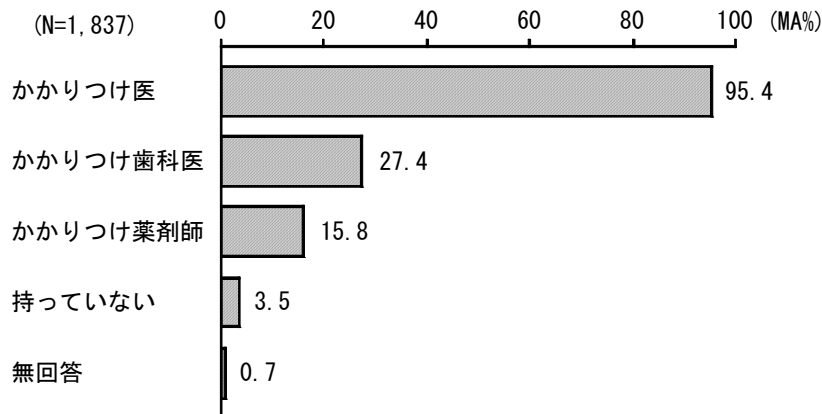
図 2-14 日ごろの健康状態



日ごろの健康状態については、『健康だと思う (計)』(「とても健康だと思う」に「まあ健康だと思う」を加えた割合) の30.8%に対し、『健康ではないと思う (計)』(「健康ではないと思う」に「あまり健康ではないと思う」を加えた割合) が56.4%と多くなっている。

## ウ かかりつけ医の有無

図 2-15 かかりつけ医の有無



かかりつけ医の有無については、「かかりつけ医」が95.4%を占め、次いで「かかりつけ歯科医」が27.4%、「かかりつけ薬剤師」が15.8%となっており、一方で「持っていない」は3.5%となっている。

表 2-10 要介護度別 かかりつけ医の有無

(MA%)

	調査数 (N)	かかりつけ医	かかりつけ歯科医	かかりつけ薬剤師	持っていない	無回答
要支援1	109	94.8	38.2	18.2	3.3	0.6
要支援2	273	94.1	34.7	18.4	4.1	0.3
要介護1	329	98.4	31.2	14.0	1.1	0.5
要介護2	520	95.1	22.8	13.8	4.5	0.4
要介護3	296	94.5	22.4	15.7	4.3	0.8
要介護4	196	94.4	27.8	16.9	4.0	1.2
要介護5	114	95.3	21.5	19.0	1.5	2.6
合計	1837	95.4	27.4	15.8	3.5	0.7

かかりつけ医の有無を要介護度別にみると、いずれも「かかりつけ医」が9割台を占め最も多くなっている。「かかりつけ歯科医」は要支援1（38.2%）で最も高くなっている。

表 2-11 日ごろの健康状態別 かかりつけ医の有無

(MA%)

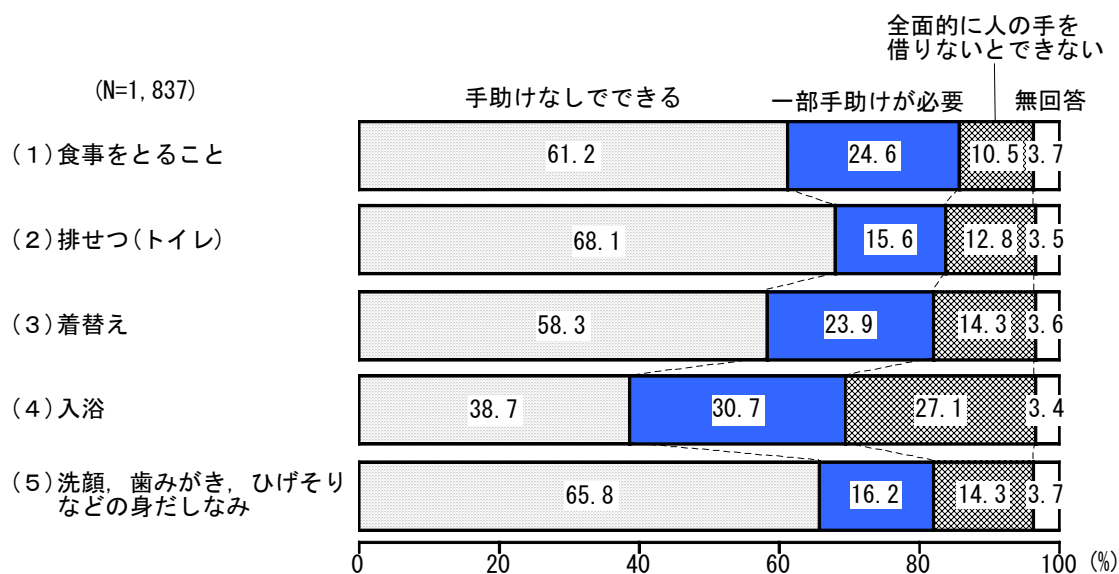
	調査数 (N)	かかりつけ医	かかりつけ歯科医	かかりつけ薬剤師	持っていない	無回答
とても健康だと思う	47	95.0	33.1	8.8	2.5	0.7
まあ健康だと思う	520	96.4	27.1	14.2	2.7	0.7
あまり健康ではないと思う	466	96.9	32.1	17.5	1.7	0.7
健康ではないと思う	569	94.8	25.9	17.1	4.5	0.4
どちらとも言えない	224	92.0	19.7	14.2	6.8	0.4
無回答	12	77.5	42.5	9.9	-	22.5
合計	1837	95.4	27.4	15.8	3.5	0.7

かかりつけ医の有無を日ごろの健康状態別にみると、いずれも「かかりつけ医」が9割台を占め最も多くなっている。「かかりつけ歯科医」はとても健康だと思う（33.1%）で最も高くなっている。



(2) 日常生活動作（基本的ADL）

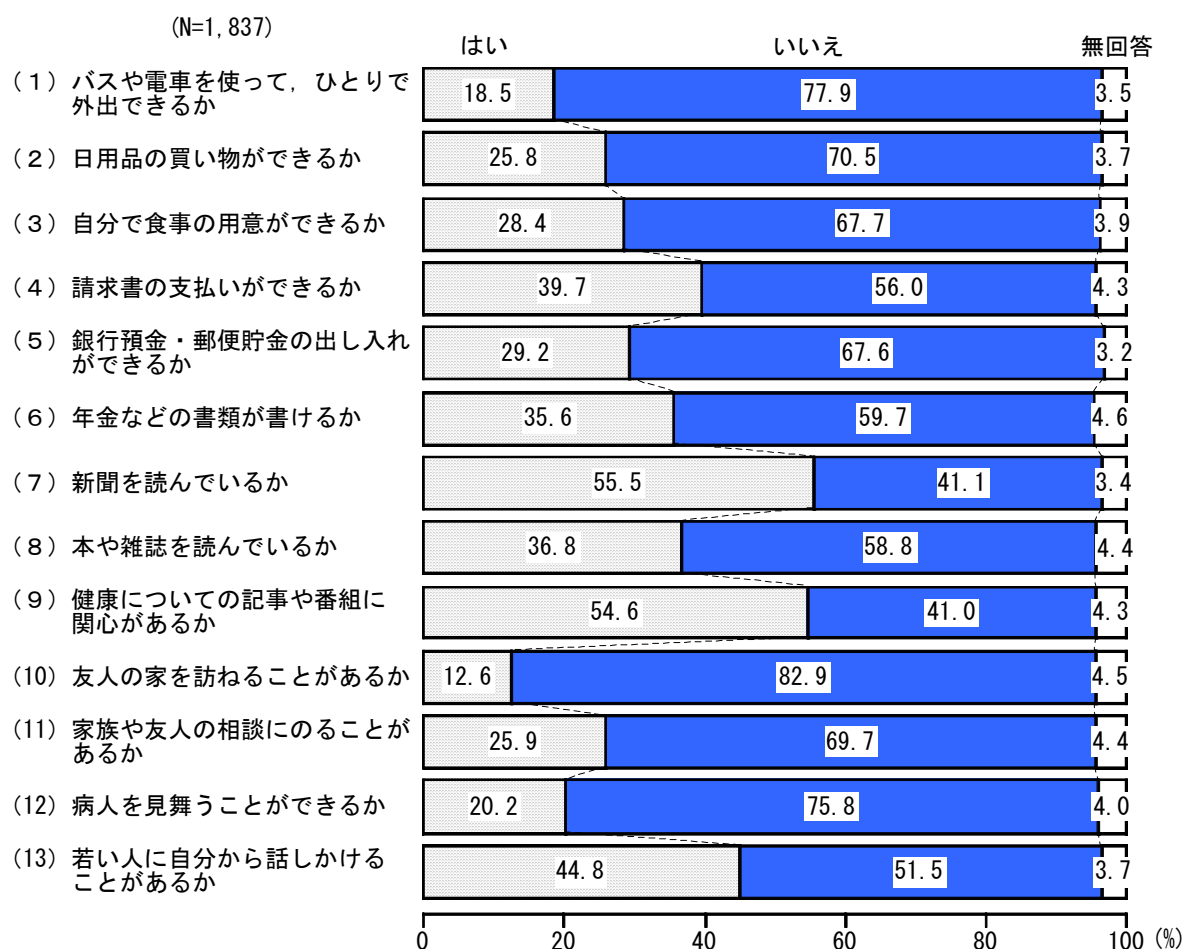
図 2-16 日常生活動作（基本的ADL）



基本的な日常基本動作のうち、『(4) 入浴』については「全面的に人の手を借りないとできない」が27.1%と多く、「一部手助けが必要」(30.7%)を合わせると、5割を超える人が介助を必要としている。

### (3) 老研式活動能力指標（高次ADL）※

図 2-17 老研式活動能力指標（高次ADL）



高次の日常生活動作をみると、老研式活動能力指標の13項目中、『(7) 新聞を読んでいるか』『(9) 健康についての記事や番組への関心があるか』について「はい」が50%以上を占めるが、『(10) 友人の家を訪ねることがあるか』(82.9%)をはじめとして、『(1) バスや電車を使ってひとりで外出ができるか』(77.9%)、『(12) 病人を見舞うことができるか』(75.8%)などについては、「いいえ」の割合が高くなっている。

老研式活動能力指標総合点の平均は4.4点となっている。この点数は老研式活動能力指標の13項目について「はい」(できる)との回答に対し1点与え、その累積値(最高13点満点)により生活機能の自立の程度をみるもので、点数が高いほど自立度が高いことを意味する。

※老研式活動能力指標（高次ADL）とは、高齢者が、どのくらい生活機能の自立度（地域で、ひとりで日常生活を営むことができる能力）を維持しているかを測る指標として、東京都老人総合研究所が開発したものです。

表 2-12 要介護度別 老研式活動能力指標（高次ADL）

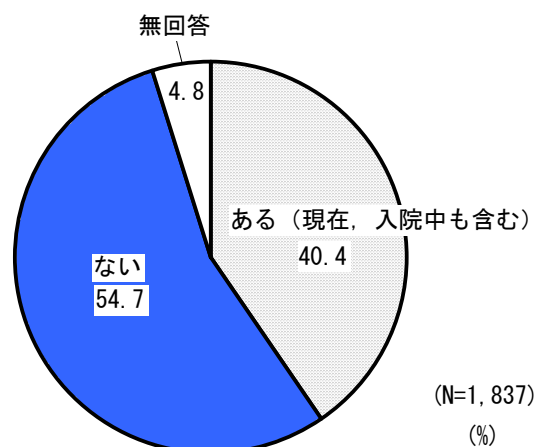
	調査数 (N)	(%)					(点)
		3 点 以下	4 ～ 6 点	7 ～ 9 点	1 0 点 以上	無 回 答	平 均 点
要支援1	109	10.0	16.1	30.6	40.0	3.3	8.4
要支援2	273	16.3	20.9	26.9	34.1	1.9	7.5
要介護1	329	33.9	25.3	21.5	17.2	2.2	5.6
要介護2	520	51.8	29.0	8.9	8.0	2.2	3.8
要介護3	296	71.0	13.7	8.2	3.1	3.9	2.6
要介護4	196	77.8	15.3	3.6	1.2	2.0	1.8
要介護5	114	85.8	7.3	2.2	1.8	2.9	1.3
合計	1837	48.8	21.1	14.0	13.5	2.5	4.4

要介護度別に分布をみると、「10点以上」の割合は、要支援1・2の軽度で高く、特に要支援1で40.0%と高くなっている。総合点の平均は、いずれも10点を下回っており、要支援1が8.4%で最も高い。

#### (4) 入院経験と現在治療を受けている病気

##### ア この1年間に入院した経験

図 2-18 この1年間に入院した経験



この1年間に入院したことがある人は、現在入院中の人も含め40.4%となっている。

##### イ 現在治療を受けている病気

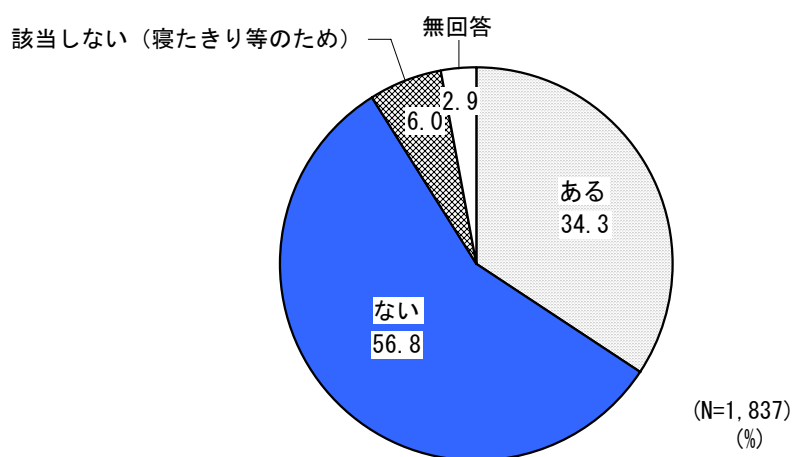
表 2-13 現在治療を受けている病気

調査数 (N)	(上段：件 下段：MA%)																		
	高血圧症	腰痛、膝痛などの病気	眼の病気	心臓病（心筋梗塞、狭心症など）	消化器系疾患	歯の病気	脳血管疾患（脳梗塞、脳出血など）	糖尿病	泌尿器系疾患	呼吸器系疾患（喘息、肺炎など）	耳、鼻の病気	高脂血症	精神疾患	腎臓病	肝臓病	結核	その他	特にない	無回答
1837	781	669	542	523	329	317	300	288	232	192	164	164	141	134	72	7	307	77	63
100.0	42.5	36.4	29.5	28.5	17.9	17.3	16.3	15.7	12.6	10.5	9.0	8.9	7.7	7.3	3.9	0.4	16.7	4.2	3.4

現在治療を受けている病気としては、「高血圧症」が42.5%で最も多く、次いで「腰痛、膝痛などの病気」(36.4%)、「眼の病気」(29.5%)、「心臓病（心筋梗塞、狭心症など）」(28.5%)などとなっている。

## (5) 転倒経験

図 2-19 この1年間に転倒してケガをした経験

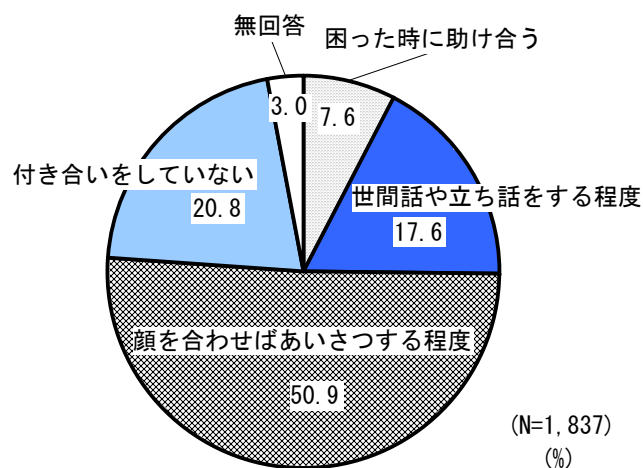


この1年間に転倒してケガをしたことがある人は、34.3%となっている。

## (6) 近所付き合い

### ア 近所付き合いの程度

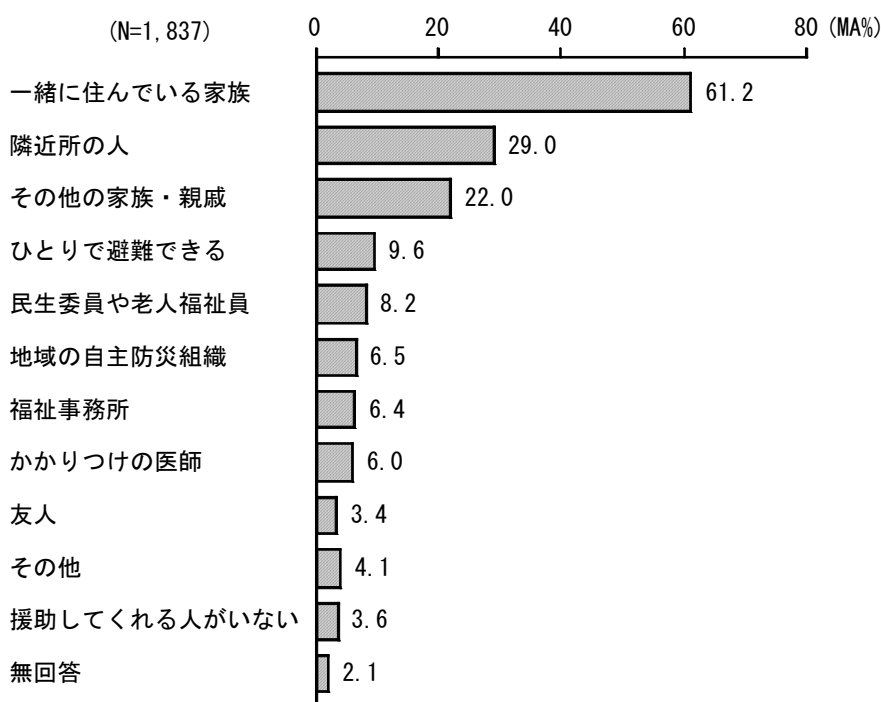
図 2-20 近所付き合いの程度



近所付き合いの程度は、「顔を合わせばあいさつする程度」が50.9%と最も多く、次いで「付き合いをしていない」が20.8%、「世間話や立ち話をする程度」が17.6%となっている。

## イ 災害時に避難が必要になった場合の援助者

図 2-21 災害時に避難が必要になった場合の援助者



災害時に避難が必要になった場合の援助者については、「一緒に住んでいる家族」が61.2%で最も多く、次いで「隣近所の人」が29.0%、「その他の家族・親戚」が22.0%となっている。

表 2-14 性・世帯構成別 災害時に避難が必要になった場合の援助者

	調査数 (N)	(MA%)											
		一緒に住んでいる家族	隣近所の人	その他の家族・親戚	ひとりで避難できる	民生委員や老人福祉員	地域の自主防災組織	福祉事務所	かかりつけの医師	友人	その他	援助してくれる人がいない	無回答
男性 (全体)	529	65.9	31.8	21.1	11.3	9.0	9.2	9.6	7.3	2.4	3.1	3.5	1.8
男性 ひとり暮らし	108	5.7	43.8	25.1	30.4	20.9	12.7	20.0	6.1	5.4	7.3	7.1	1.9
男性 夫婦のみ	242	72.2	32.3	26.7	9.6	6.4	10.5	8.2	7.5	2.2	1.9	3.4	2.7
男性 兄弟姉妹のみ	4	80.6	29.0	-	-	-	-	-	-	-	60.2	10.8	-
男性 二世帯同居	97	91.4	21.7	12.1	3.1	6.4	5.2	4.8	4.9	1.8	1.2	2.4	1.2
男性 三世帯同居	65	98.2	24.2	8.7	1.3	5.1	6.6	3.8	10.6	-	0.6	-	-
男性 その他	3	100.0	84.8	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女性 (全体)	1171	60.2	28.1	22.5	8.9	7.7	5.3	5.4	5.6	3.8	4.9	3.0	1.9
女性 ひとり暮らし	378	6.3	43.7	36.2	17.1	15.3	6.6	10.4	6.7	7.1	6.5	6.2	2.3
女性 夫婦のみ	174	74.3	28.4	19.4	9.7	7.3	9.4	5.5	5.8	3.8	4.1	2.5	2.4
女性 兄弟姉妹のみ	12	69.0	7.0	7.0	-	7.0	7.0	7.0	-	-	19.0	24.0	7.0
女性 二世帯同居	325	93.2	20.4	15.3	3.8	2.4	3.0	2.0	7.1	2.0	2.4	1.2	1.2
女性 三世帯同居	204	95.3	13.0	10.8	3.2	1.1	2.1	1.9	1.6	0.4	2.0	-	1.3
女性 その他	47	65.8	29.9	30.2	3.3	12.6	10.1	3.8	9.7	5.0	16.7	-	-
無回答	136	51.5	26.1	20.3	9.2	9.3	7.2	2.5	4.6	3.6	0.9	9.5	4.6
合計	1837	61.2	29.0	22.0	9.6	8.2	6.5	6.4	6.0	3.4	4.1	3.6	2.1

災害時に避難が必要になった場合の援助者について性別にみると、「一緒に住んでいる家族」は女性 (60.2%) より男性 (65.9%) のほうが5.7ポイント高くなっている。性・世帯構

成別にみると、男女ともひとり暮らし以外は「一緒に住んでいる家族」が最も多く、ひとり暮らしについては男女とも「隣近所の人」が43%台で最も多くなっている。

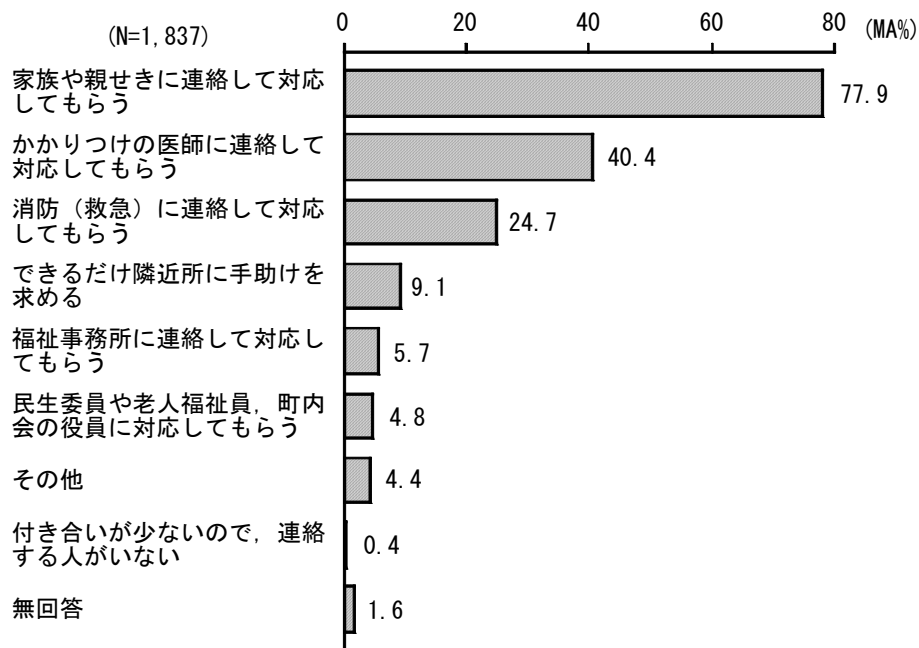
表 2-15 要介護度別 災害時に避難が必要になった場合の援助者

	調査数 (N)	一緒に住んでいる家族	隣近所の人	その他の家族・親戚	ひとりで避難できる	民生委員や老人福祉員	地域の自主防災組織	福祉事務所	かかりつけの医師	友人	その他	援助してくれない人がい	無回答
要支援 1	109	34.5	39.4	21.8	28.2	14.2	10.0	10.3	7.9	5.5	1.8	4.5	1.5
要支援 2	273	40.9	41.3	23.1	21.9	14.4	8.1	8.1	7.2	7.5	2.2	5.6	2.5
要介護 1	329	47.8	33.9	23.7	13.4	9.7	10.8	10.2	4.8	3.8	3.2	4.8	1.6
要介護 2	520	68.8	24.1	24.6	5.8	7.1	2.7	4.0	5.8	2.2	5.4	1.8	2.2
要介護 3	296	72.2	23.1	18.0	2.4	4.7	6.7	5.5	4.3	3.1	5.1	2.7	2.4
要介護 4	196	78.6	24.6	19.4	1.2	3.2	5.6	4.0	6.5	0.8	4.4	3.6	1.6
要介護 5	114	81.0	21.5	17.2	1.8	5.8	5.8	4.4	9.9	1.5	4.0	4.7	2.6
合計	1837	61.2	29.0	22.0	9.6	8.2	6.5	6.4	6.0	3.4	4.1	3.6	2.1

災害時に避難が必要になった場合の援助者について要介護度別にみると、「ひとりで避難できる」は要介護度が重度になるほど割合が低くなる傾向にあり、逆に「一緒に住んでいる家族」は重度になるほど割合が高くなっている。

## ウ 急病時の対処方法

図 2-22 急病時の対処方法



急病時の対処方法については、「家族や親せきに連絡して対応してもらう」が77.9%で最も多く、次いで「かかりつけの医師に連絡して対応してもらう」が40.4%、「消防（救急）に連絡して対応してもらう」が24.7%となっている。

表 2-16 性・世帯構成別 急病時の対処方法

	調査数 (N)	家族や親せきに連絡して対応してもらう	かかりつけの医師に連絡して対応してもらう	消防（救急）に連絡して対応してもらう	できるだけ隣近所に手助けを求める	福祉事務所や民生委員等に連絡して対応してもらう	民生委員や老人福祉員に連絡して対応してもらう	その他	付き合いが少ない人がいない	無回答
男性（全体）	529	75.8	45.9	34.8	9.7	6.8	4.9	2.7	0.2	1.6
男性 ひとり暮らし	108	64.5	38.8	38.4	15.6	14.6	13.2	6.0	0.8	1.6
男性 夫婦のみ	242	76.2	46.6	41.6	10.9	7.5	4.4	2.3	-	1.6
男性 兄弟姉妹のみ	4	20.5	79.5	29.0	-	-	-	-	-	-
男性 二世帯同居	97	81.2	45.3	23.7	3.4	-	-	2.1	-	3.0
男性 三世帯同居	65	90.3	55.1	18.4	3.8	3.1	2.0	0.6	-	-
男性 その他	3	100.0	15.2	100.0	84.8	-	-	-	-	-
女性（全体）	1171	79.3	38.5	20.6	8.6	5.4	4.7	5.4	0.5	1.2
女性 ひとり暮らし	378	75.4	36.4	26.5	16.0	10.8	10.6	6.2	1.0	0.6
女性 夫婦のみ	174	72.5	42.1	28.2	10.0	6.3	4.7	4.5	-	2.2
女性 兄弟姉妹のみ	12	78.7	46.6	55.0	7.0	9.7	7.0	-	-	3.4
女性 二世帯同居	325	83.9	40.1	14.7	3.8	2.3	0.8	3.8	0.7	0.6
女性 三世帯同居	204	88.2	36.6	13.3	0.8	1.1	0.8	3.6	-	1.3
女性 その他	47	69.0	38.9	13.1	10.1	1.8	4.7	18.3	-	2.5
無回答	136	74.1	35.3	20.2	11.2	4.0	4.5	2.2	-	4.6
合計	1837	77.9	40.4	24.7	9.1	5.7	4.8	4.4	0.4	1.6

急病時の対処方法について性別にみると、「消防（救急）に連絡して対応してもらう」は女



性 (20.6%) より男性 (34.8%) のほうが14.2ポイント高く、「かかりつけの医師に連絡して対応してもらおう」も女性 (38.5%) より男性 (45.9%) のほうが7.4ポイント高くなっている。性・世帯構成別にみると、「家族や親せきに連絡して対応してもらおう」は男性の兄弟姉妹のみ以外は過半数を占めており、最も多くなっている。男性の兄弟姉妹のみは「かかりつけの医師に連絡して対応してもらおう」が79.5%で最も多くなっている。

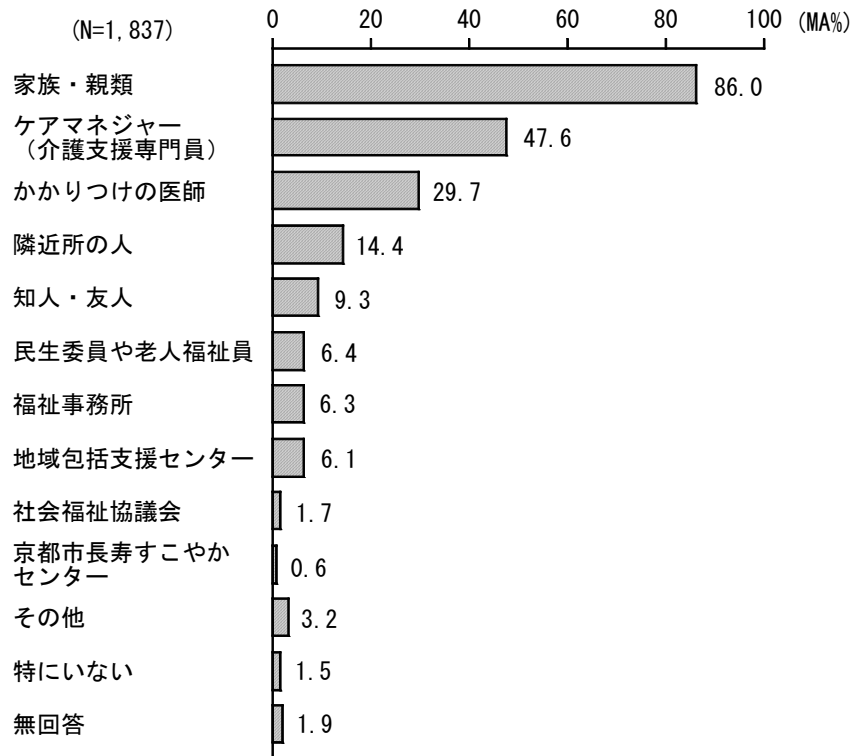
表 2-17 要介護度別 急病時の対処方法

	調査数 (N)	(MA%)								
		て家族や親せきに連絡し	絡かかりつけの医師に連絡し	て消防(救急)に連絡し	助けるだけ求める隣近所に手	対福祉事務所にも連絡して	応員、民生委員や老人福祉対	その他	いで、付き合いが少ない	無回答
要支援 1	109	72.1	41.8	30.6	15.5	11.5	8.2	3.6	0.9	0.6
要支援 2	273	77.2	42.5	28.8	13.4	7.8	8.1	1.9	0.6	0.9
要介護 1	329	80.1	41.4	26.3	8.6	8.6	8.1	3.2	-	1.1
要介護 2	520	78.1	37.1	26.3	10.3	3.1	3.1	4.9	0.4	2.2
要介護 3	296	79.6	37.6	16.1	5.5	4.7	2.4	6.3	-	2.0
要介護 4	196	79.0	39.9	21.8	4.4	4.4	1.6	4.4	0.8	1.6
要介護 5	114	71.2	54.0	24.1	5.8	3.6	3.3	6.9	0.4	1.8
合計	1837	77.9	40.4	24.7	9.1	5.7	4.8	4.4	0.4	1.6

急病時の対処方法について要介護度別にみると、いずれも「家族や親せきに連絡して対応してもらおう」が最も多く、特に要介護 1 (80.1%) で最も高い割合となっている。「かかりつけの医師に連絡して対応してもらおう」は要介護 5 で最も多く 54.0%となっている。

## エ 相談相手

図 2-23 相談相手



相談相手については、「家族・親類」が86.0%で圧倒的に多くなっている。それ以外では、「ケアマネジャー（介護支援専門員）」が47.6%、「かかりつけの医師」が29.7%、「隣近所の人」が14.4%となっている。

表 2-18 相談相手〔未利用者との比較〕

	調査数 (N)	家族・親類	ケアマネジャー (介護支援専門員)	かかりつけの医師	隣近所の人	知人・友人	民生委員や老人福祉員	福祉事務所	地域包括支援センター	社会福祉協議会	京都市長寿すこやかセンター	その他	特になし	無回答
居宅サービス利用者	1837	86.0	47.6	29.7	14.4	9.3	6.4	6.3	6.1	1.7	0.6	3.2	1.5	1.9
居宅サービス未利用者	670	86.2	19.4	22.2	15.2	10.6	4.9	4.1	5.6	0.6	0.1	2.8	2.3	3.7

相談相手について未利用者と比較すると、「かかりつけの医師」や「ケアマネジャー（介護支援専門員）」などは未利用者より利用者のほうが高く、特に、「ケアマネジャー（介護支援専門員）」は28.2ポイント差と、差が大きくなっている。

表 2-19 性・世帯構成別 相談相手

(MA%)

	調査数 (N)	家族・親類	ケアマネジャー (介護支援専門員)	かかりつけの医師	隣近所の人	知人・友人	民生委員や老人福祉員	福祉事務所	地域包括支援センター	社会福祉協議会	京都市長寿すこやかセンター	その他	特にいない	無回答
男性 (全体)	529	82.2	56.8	33.6	15.8	8.6	5.4	7.5	6.3	2.1	1.2	2.7	2.3	2.1
男性 ひとり暮らし	108	66.7	48.4	29.6	21.8	13.6	11.6	18.8	8.9	6.4	-	6.8	3.2	1.6
夫婦のみ	242	84.1	58.8	35.1	15.7	8.4	3.3	6.0	7.2	1.7	2.6	1.2	2.3	2.4
兄弟姉妹のみ	4	89.2	91.4	80.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
二世帯同居	97	87.1	52.0	31.5	9.5	2.6	3.8	1.8	2.9	-	-	0.9	2.0	3.4
三世帯同居	65	96.4	67.6	40.1	15.8	8.5	6.5	5.1	3.9	-	-	1.3	-	0.5
その他	3	100.0	100.0	15.2	84.8	84.8	-	-	-	-	-	-	-	-
女性 (全体)	1171	88.4	44.5	28.5	14.1	9.7	6.7	6.0	6.4	1.5	0.4	3.6	1.3	1.5
女性 ひとり暮らし	378	82.2	46.5	28.7	21.3	18.7	12.9	10.8	10.4	2.5	0.6	2.5	2.4	0.7
夫婦のみ	174	86.2	54.0	29.1	15.0	10.4	5.7	7.4	7.5	3.9	0.9	3.8	0.4	3.4
兄弟姉妹のみ	12	100.0	84.4	32.1	7.0	2.7	7.0	19.0	9.7	-	-	-	-	-
二世帯同居	325	95.2	45.0	28.8	8.6	5.0	3.4	3.0	3.8	0.2	0.3	3.6	1.0	0.9
三世帯同居	204	92.8	33.6	29.4	9.8	1.8	2.3	1.0	3.0	0.4	-	2.4	1.0	1.7
その他	47	89.9	36.0	22.0	7.2	5.2	3.8	4.7	0.7	-	-	11.7	-	-
無回答	136	79.5	37.8	25.6	11.5	9.2	7.6	3.8	3.3	1.4	-	2.8	0.2	4.5
合計	1837	86.0	47.6	29.7	14.4	9.3	6.4	6.3	6.1	1.7	0.6	3.2	1.5	1.9

相談相手について性別にみると、「ケアマネジャー (介護支援専門員)」は女性 (44.5%) より男性 (56.8%) のほうが12.3ポイント高く、「家族・親類」は男性 (82.2%) より女性 (88.4%) のほうが6.2ポイント高くなっている。性・世帯構成別にみると、「家族・親類」は、男性では世帯規模が大きくなるほど割合が高くなる傾向にあり、女性では兄弟姉妹のみが100%で最も高く、いずれの世帯も80%以上となっている。

表 2-20 要介護度別 相談相手

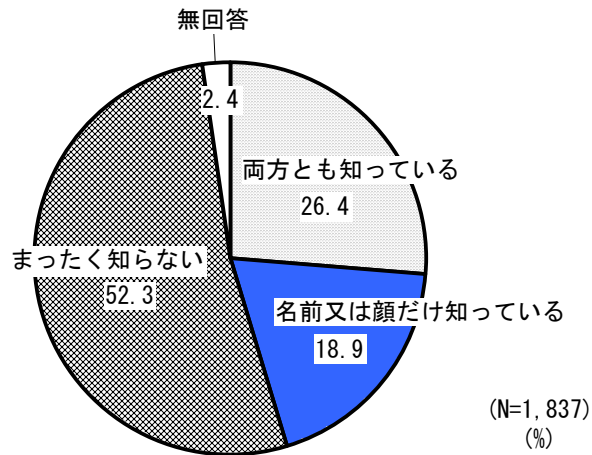
(MA%)

	調査数 (N)	家族・親類	ケアマネジャー (介護支援専門員)	かかりつけの医師	隣近所の人	知人・友人	民生委員や老人福祉員	福祉事務所	地域包括支援センター	社会福祉協議会	京都市長寿すこやかセンター	その他	特にいない	無回答
要支援 1	109	78.5	31.5	28.5	22.7	20.0	8.2	6.1	15.8	3.6	0.9	1.8	3.0	1.5
要支援 2	273	81.3	38.8	28.4	20.6	18.4	11.3	6.3	16.9	2.2	0.6	0.9	2.8	1.9
要介護 1	329	84.9	47.8	24.7	16.1	9.7	9.7	9.7	3.2	1.6	0.5	2.2	1.6	2.2
要介護 2	520	89.7	48.7	31.7	13.4	5.4	4.5	5.8	4.0	1.3	0.4	4.5	0.4	1.3
要介護 3	296	88.6	52.9	27.5	10.6	7.1	3.5	5.5	3.5	1.6	1.2	5.1	0.8	2.0
要介護 4	196	84.7	53.2	32.7	8.9	6.0	4.4	3.6	2.8	1.6	-	2.0	2.4	2.8
要介護 5	114	85.4	54.7	40.5	9.9	6.2	3.3	5.1	1.5	0.7	0.7	5.1	1.8	2.6
合計	1837	86.0	47.6	29.7	14.4	9.3	6.4	6.3	6.1	1.7	0.6	3.2	1.5	1.9

相談相手について要介護度別にみると、「家族・親類」は要介護 2 (89.7%) で最も高く、要支援 2 以上で80%台となっている。次いで、いずれも「ケアマネジャー (介護支援専門員)」となっており、要介護 3 以上で50%台となっている。

## オ 地域の町内会長の認知状況

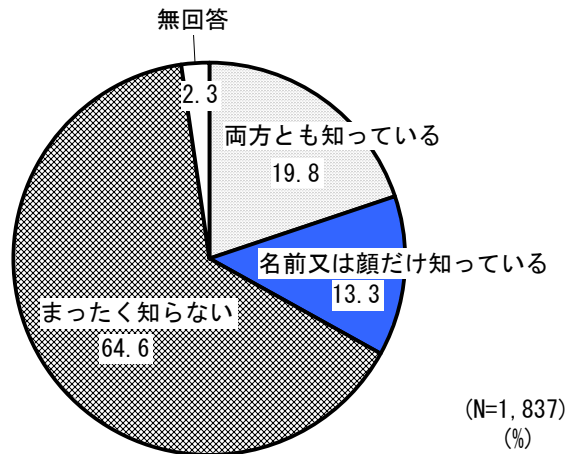
図 2-24 地域の町内会長の名前及び顔の認知状況



地域の町内会長（自治会長）の名前及び顔を両方とも知っているかについては、「両方とも知っている」は26.4%、「名前又は顔だけ知っている」は18.9%となっている。

## カ 地域の民生委員の認知状況

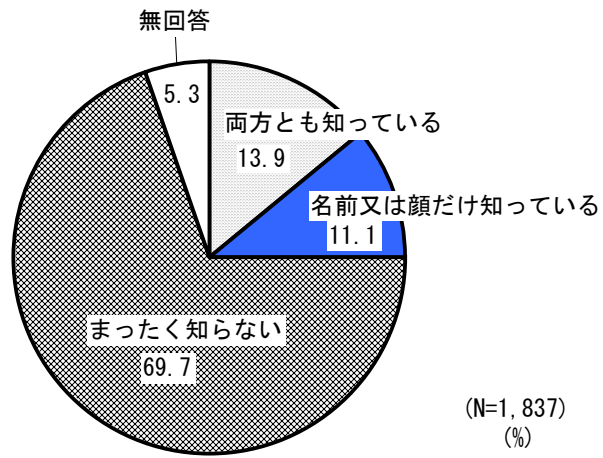
図 2-25 地域の民生委員の名前及び顔の認知状況



地域の民生委員の名前及び顔を両方とも知っているかについては、「両方とも知っている」は19.8%、「名前又は顔だけ知っている」は13.3%となっている。

キ 地域の老人福祉員の認知状況

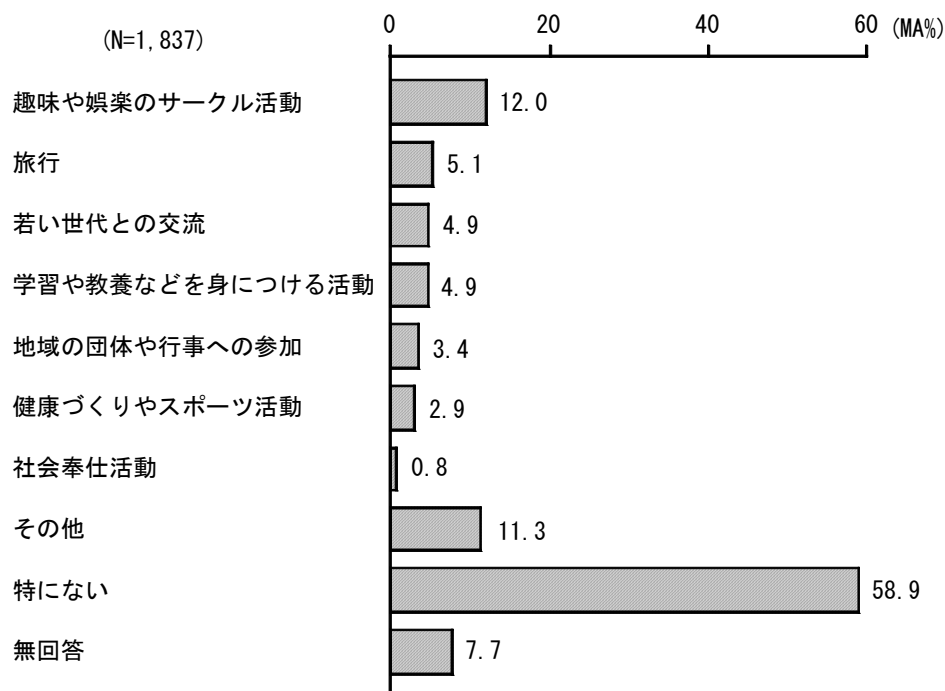
図 2-26 地域の老人福祉員の名前及び顔の認知状況



地域の老人福祉員の名前及び顔を両方とも知っているかについては、「両方とも知っている」は13.9%、「名前又は顔だけ知っている」は11.1%となっている。

## (7) 生きがいを感じる活動

図 2-27 生きがいを感じる活動

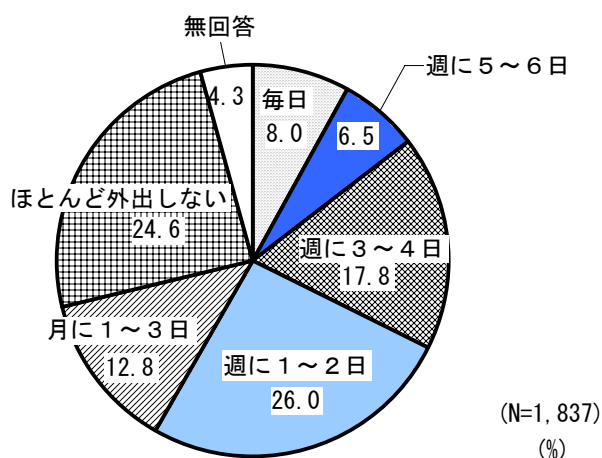


現在生きがいを感じる活動については、「特にない」が58.9%を占めている。生きがいを感じる活動としては、「趣味や娯楽のサークル活動」が12.0%、「旅行」が5.1%、「若い世代との交流」が4.9%などとなっている。

## (8) 外出の状況

### ア 外出の頻度

図 2-28 外出の頻度



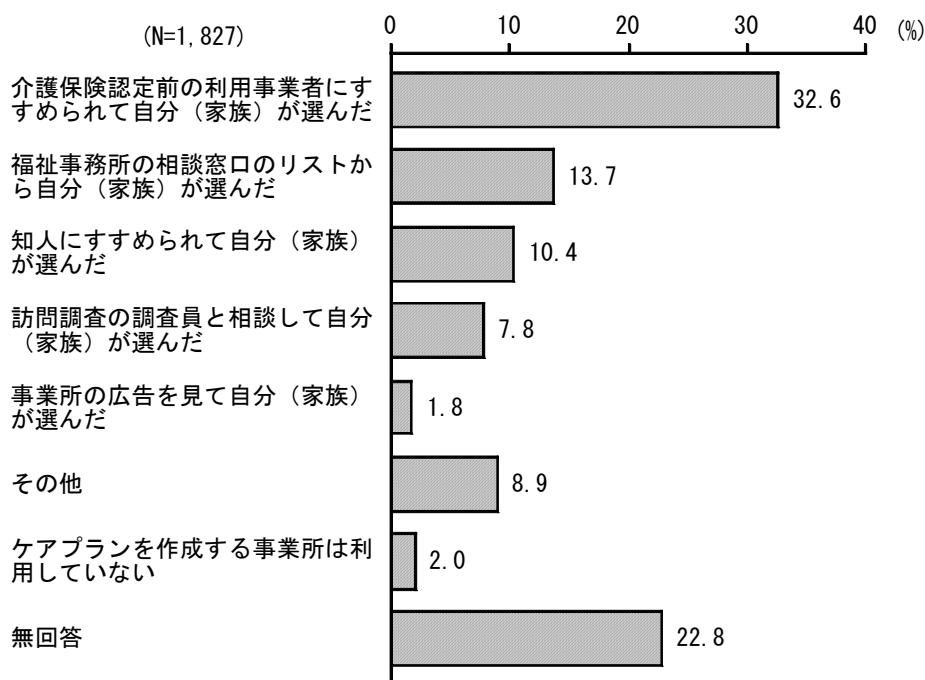
外出する頻度をみると、「週に1~2日」が26.0%と最も多く、次いで「ほとんど外出しない」が24.6%、「週に3~4日」が17.8%となっている。

### 3 介護保険サービスの利用状況

#### (1) 居宅介護支援事業者やケアプランについての満足度

##### ア 居宅介護支援事業者の選定方法

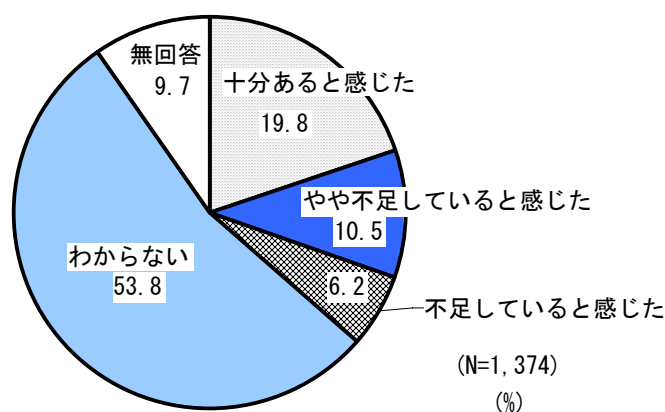
図 2-29 居宅介護支援事業者の選定方法



居宅介護支援事業者の選定方法については、「介護保険認定前の利用事業者にすすめられて自分（家族）が選んだ」が32.6%で最も多く、次いで「福祉事務所の相談窓口のリストから自分（家族）が選んだ」が13.7%、「知人にすすめられて自分（家族）が選んだ」が10.4%となっている。

##### イ 事業所の過不足感

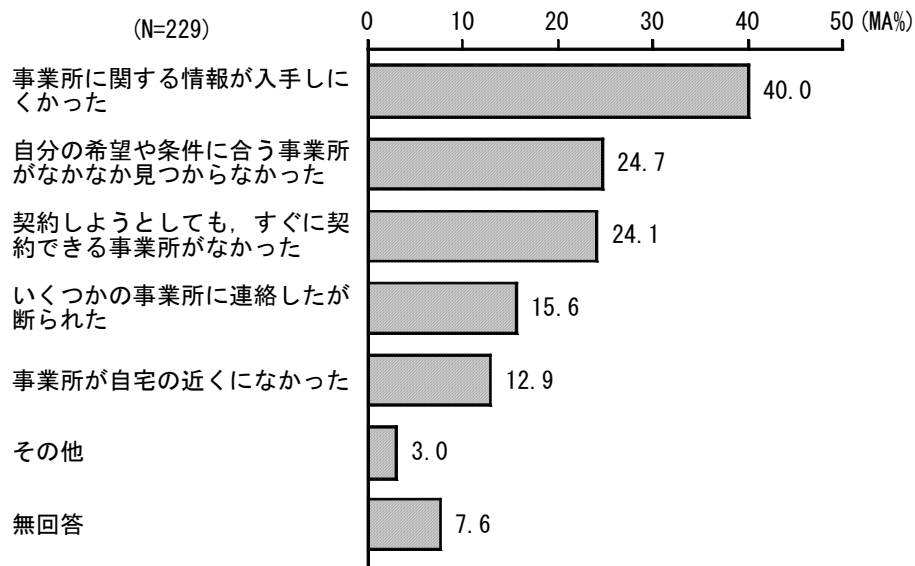
図 2-30 事業所の過不足感



事業所の数については、「十分あると感じた」は19.8%で、『不足している（計）』（「不足していると感じた」に「やや不足していると感じた」を加えた割合）は16.7%となっている。

## ウ 不足と感じた理由

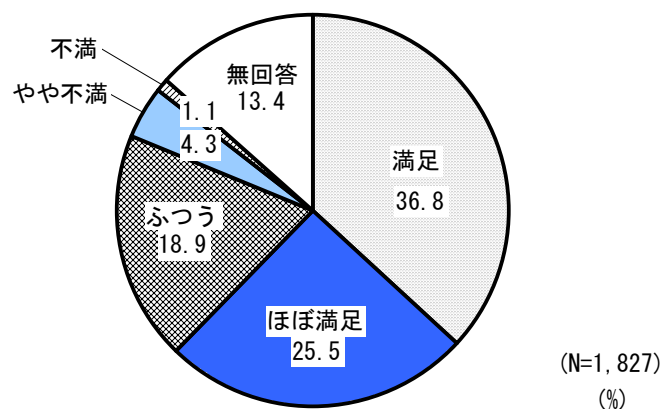
図 2-31 不足と感じた理由



事業所が不足していると感じた理由については、「事業所に関する情報が入手しにくかった」が40.0%で最も多く、次いで「自分の希望や条件に合う事業所がなかなか見つからなかった」が24.7%、「契約しようとしても、すぐに契約できる事業所がなかった」が24.1%となっている。

## エ ケアプラン作成者に対する満足度

図 2-32 ケアプラン作成者に対する満足度

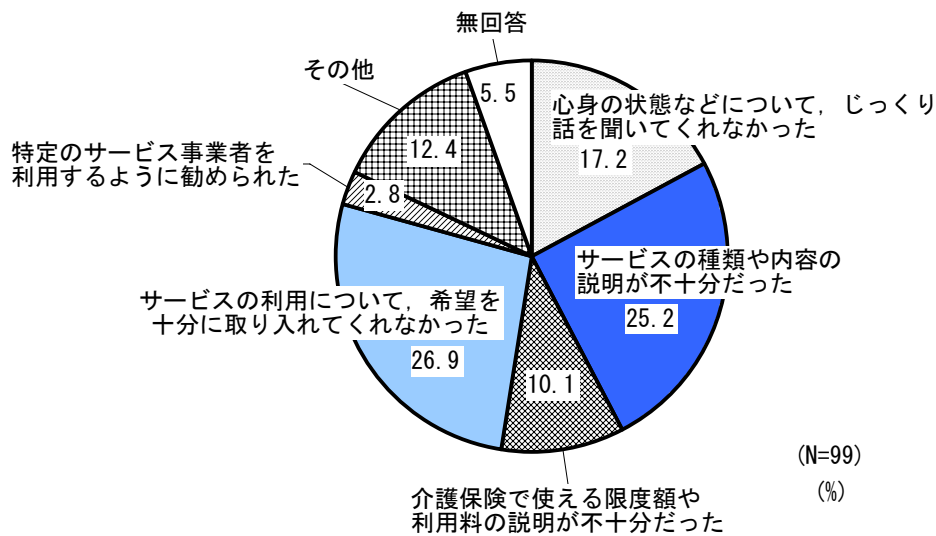


ケアプランを作成している担当者の対応は、「満足」が36.8%で最も多く「ほぼ満足」を加えた『満足 (計)』は62.3%となっており、『不満 (計)』(「不満」に「やや不満」を加えた割合)は5.4%となっている。



## オ ケアプラン作成者に対する不満点

図 2-33 ケアプラン作成者に対する不満点

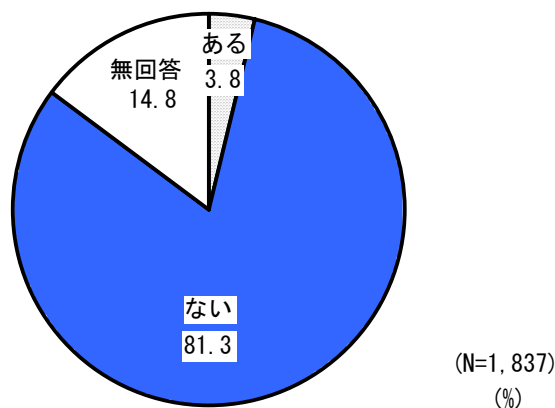


ケアプランを作成している担当者の対応が不満と回答した人に、不満な点をたずねると、「サービスの利用について、希望を十分に取り入れてくれなかった」が26.9%で最も多く、次いで「サービスの種類や内容の説明が不十分だった」が25.2%、「心身の状態などについて、じっくり話を聞いてくれなかった」が17.2%となっている。

## (2) 障害や疾患等を理由にサービス利用を断られた経験

### ア 障害や疾患等を理由に利用を断られた経験の有無

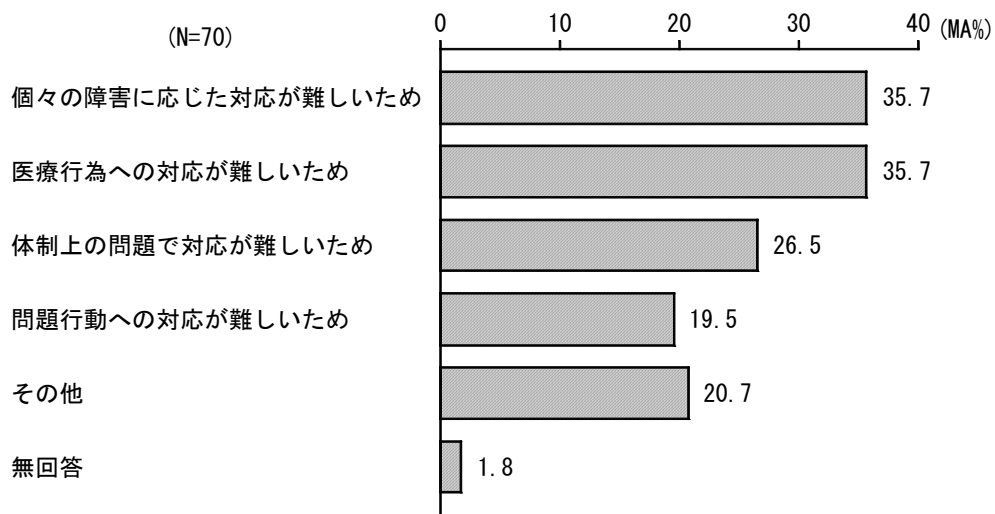
図 2-34 障害や疾患等を理由に利用を断られた経験の有無



障害や疾患等を理由に事業者から介護保険サービスの利用を断られたことがある人は、3.8%となっている。

## イ 利用を断られた主な理由

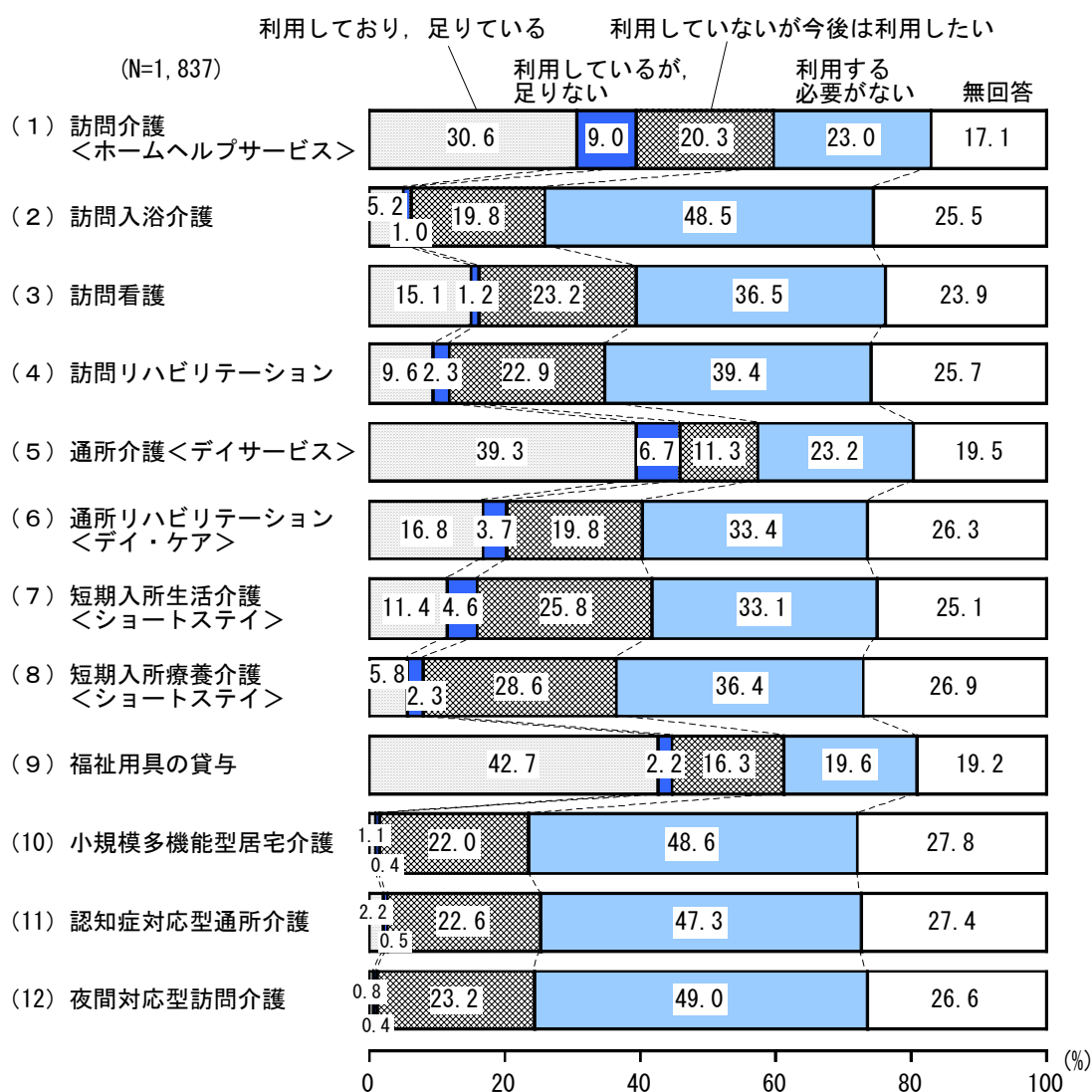
図 2-35 利用を断られた主な理由



サービスの利用を断られた主な理由としては、「個々の障害に応じた対応が難しいため」と「医療行為への対応が難しいため」が共に35.7%で最も多く、次いで「体制上の問題で対応が難しいため」が26.5%となっている。

### (3) 居宅サービスの利用状況・利用意向

図 2-36 居宅サービスの利用状況・利用意向



居宅サービスの利用度（「利用しており、足りている」に「利用しているが、足りない」を加えた割合）をみると、『(1) 訪問介護（ホームヘルプサービス）』『(5) 通所介護＜デイサービス＞』『(9) 福祉用具の貸与』が30～40%台と高くなっている。

今後の利用希望については、『(8) 短期入所療養介護（ショートステイ）』が28.6%と最も高く、『(1) 訪問介護（ホームヘルプサービス）』『(3) 訪問看護』『(4) 訪問リハビリテーション』『(7) 短期入所生活介護（ショートステイ）』『(10) 小規模多機能型居宅介護』『(11) 認知症対応型通所介護』『(12) 夜間対応型訪問介護』も20%を超えている。

表 2-21 要介護度別 居宅サービスの利用状況・利用意向

(1) 訪問介護<ホームヘルプサービス>

	調査数 (N)	利用しており、足り	利用していないが、足	後利用していないが今	利用する必要がない	無回答
要支援 1	109	37.3	7.9	14.2	17.0	23.6
要支援 2	273	33.8	9.4	15.3	24.7	16.9
要介護 1	329	35.5	8.6	17.2	22.6	16.1
要介護 2	520	26.3	8.5	25.0	24.6	15.6
要介護 3	296	27.5	7.8	22.0	21.2	21.6
要介護 4	196	24.6	11.3	22.2	24.6	17.3
要介護 5	114	40.1	12.0	17.5	20.8	9.5
合計	1837	30.6	9.0	20.3	23.0	17.1

(2) 訪問入浴介護

	利用しており、足り	利用していないが、足	後利用していないが今	利用する必要がない	無回答
	0.9	0.6	15.5	42.7	40.3
	2.2	0.3	13.8	55.6	28.1
	3.2	1.1	17.2	53.2	25.3
	2.2	1.3	21.0	51.8	23.7
	6.3	0.4	25.1	41.6	26.7
	8.5	2.0	24.6	42.7	22.2
	27.0	1.8	19.3	35.8	16.1
	5.2	1.0	19.8	48.5	25.5

(3) 訪問看護

	利用しており、足り	利用していないが、足	後利用していないが今	利用する必要がない	無回答
	2.7	0.3	21.2	36.4	39.4
	6.6	0.6	16.9	48.4	27.5
	10.8	-	22.6	40.9	25.8
	12.9	0.9	26.8	38.4	21.0
	14.9	1.6	26.3	30.6	26.7
	27.8	2.4	23.8	27.8	18.1
	48.9	5.5	17.2	17.2	11.3
	15.1	1.2	23.2	36.5	23.9

(%)

(4) 訪問リハビリテーション

	調査数 (N)	利用しており、足り	利用していないが、足	後利用していないが今	利用する必要がない	無回答
要支援 1	109	1.8	-	20.6	37.9	39.7
要支援 2	273	4.7	0.9	17.8	47.2	29.4
要介護 1	329	4.8	1.1	24.7	44.1	25.3
要介護 2	520	9.8	2.7	24.1	41.5	21.9
要介護 3	296	11.4	3.1	22.7	34.5	28.2
要介護 4	196	16.5	3.6	28.6	27.8	23.4
要介護 5	114	24.5	5.8	17.9	31.8	20.1
合計	1837	9.6	2.3	22.9	39.4	25.7

(5) 通所介護<デイサービス>

	利用しており、足り	利用していないが、足	後利用していないが今	利用する必要がない	無回答
	15.2	2.1	13.3	33.6	35.8
	24.7	2.5	12.2	36.9	23.8
	40.3	4.8	9.1	24.7	21.0
	41.5	7.6	13.8	21.0	16.1
	46.3	10.2	9.8	14.5	19.2
	53.6	10.1	10.1	13.7	12.5
	42.3	7.7	8.0	24.8	17.2
	39.3	6.7	11.3	23.2	19.5

(6) 通所リハビリテーション<デイ・ケア>

	利用しており、足り	利用していないが、足	後利用していないが今	利用する必要がない	無回答
	6.4	0.6	19.1	33.3	40.6
	12.5	2.2	16.9	38.8	29.7
	12.9	1.1	21.0	37.6	27.4
	18.8	4.5	21.4	33.5	21.9
	23.1	6.3	18.4	25.1	27.1
	22.6	6.5	21.4	26.2	23.4
	13.9	2.6	17.2	42.3	24.1
	16.8	3.7	19.8	33.4	26.3

(%)

(7) 短期入所生活介護<ショートステイ>

	調査数 (N)	利用しており、足り	利用していないが、足	後利用していないが今	利用する必要がない	無回答
要支援 1	109	1.2	0.3	17.6	40.3	40.6
要支援 2	273	1.9	0.6	19.1	48.4	30.0
要介護 1	329	6.5	2.2	23.7	39.8	28.0
要介護 2	520	10.3	4.5	30.8	32.6	21.9
要介護 3	296	20.0	6.3	30.6	19.6	23.5
要介護 4	196	23.4	9.3	26.2	21.8	19.4
要介護 5	114	21.2	13.1	19.3	27.0	19.3
合計	1837	11.4	4.6	25.8	33.1	25.1

(8) 短期入所療養介護<ショートステイ>

	利用しており、足り	利用していないが、足	後利用していないが今	利用する必要がない	無回答
	0.3	-	18.8	39.7	41.2
	0.6	0.9	20.0	47.5	30.9
	4.3	0.5	24.7	41.9	28.5
	5.4	0.9	35.3	34.8	23.7
	10.6	4.3	29.8	29.4	25.9
	9.7	6.9	31.9	28.2	23.4
	10.9	6.9	29.9	30.3	21.9
	5.8	2.3	28.6	36.4	26.9

(9) 福祉用具の貸与

	利用しており、足り	利用していないが、足	後利用していないが今	利用する必要がない	無回答
	8.5	2.1	20.9	30.6	37.9
	18.8	0.3	24.1	31.6	25.3
	22.6	1.1	24.7	29.6	22.0
	49.6	4.0	15.6	16.1	14.7
	55.7	2.0	10.2	12.5	19.6
	70.6	2.0	6.9	8.1	12.5
	77.7	3.3	3.6	6.2	9.1
	42.7	2.2	16.3	19.6	19.2

(%)

(10) 小規模多機能型居宅介護

	調査数 (N)	利用しており、足り	利用していないが、足	後利用していないが今	利用する必要がない	無回答
要支援 1	109	0.6	0.3	17.3	40.9	40.9
要支援 2	273	0.3	0.3	15.6	50.9	32.8
要介護 1	329	0.5	-	20.4	51.1	28.0
要介護 2	520	0.9	-	25.9	50.0	23.2
要介護 3	296	1.2	1.6	22.0	45.9	29.4
要介護 4	196	3.6	0.4	26.6	43.1	26.2
要介護 5	114	2.2	0.4	20.8	53.6	23.0
合計	1837	1.1	0.4	22.0	48.6	27.8

(11) 認知症対応型通所介護

	利用しており、足り	利用していないが、足	後利用していないが今	利用する必要がない	無回答
	-	-	13.0	45.2	41.8
	0.3	0.3	12.8	53.8	32.8
	0.5	-	21.5	49.5	28.5
	2.2	-	29.0	46.0	22.8
	3.9	1.6	24.7	42.7	27.1
	4.4	0.8	25.4	43.5	25.8
	4.4	1.8	19.0	52.2	22.6
	2.2	0.5	22.6	47.3	27.4

(12) 夜間対応型訪問介護

	利用しており、足り	利用していないが、足	後利用していないが今	利用する必要がない	無回答
	0.3	0.3	16.4	42.4	40.6
	-	0.6	15.6	52.8	30.9
	-	-	17.7	53.2	29.0
	1.3	0.4	27.7	48.7	21.9
	0.4	-	25.1	47.5	27.1
	0.4	0.8	30.2	44.4	24.2
	4.4	0.7	26.3	48.2	20.4
	0.8	0.4	23.2	49.0	26.6

(%)

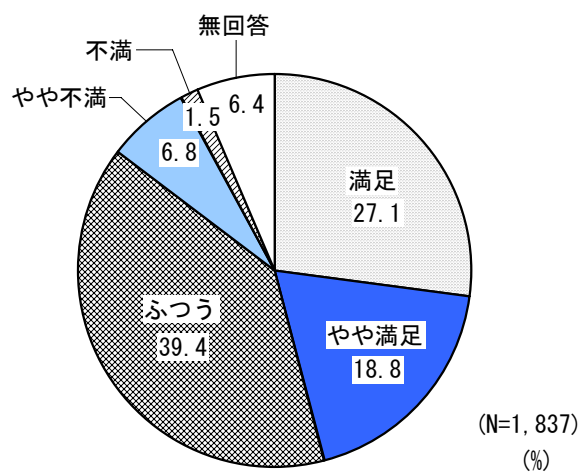
居宅サービスの利用度を要介護度別にみると、要支援1・2では『(1) 訪問介護<ホームヘルプサービス>』が最も多くなっている。また、要介護1は『(5) 通所介護<デイサービス>』が、要介護2～5は『(9) 福祉用具の貸与』が最も多くなっている。さらに、要介護5では『(1) 訪問介護<ホームヘルプサービス>』や『(3) 訪問看護』、『(5) 通所介護<デイサービス>』、『(9) 福祉用具の貸与』で50%以上となっている。

今後の利用意向について要介護度別にみると、『(7) 短期入所生活介護<ショートステイ>』では要介護2～3で、『(8) 短期入所療養介護<ショートステイ>』は要介護2, 4で、『(12) 夜間対応型訪問介護』は要介護4で30%台と高くなっている。

(4) 事業者やサービス内容に関する情報への希望

ア 事業者やサービス内容に関する情報への満足度

図 2-37 事業者やサービス内容に関する情報への満足度



事業者やサービス内容に関する情報入手について満足している人は、「やや満足」を合わせて全体の45.9%となっている。

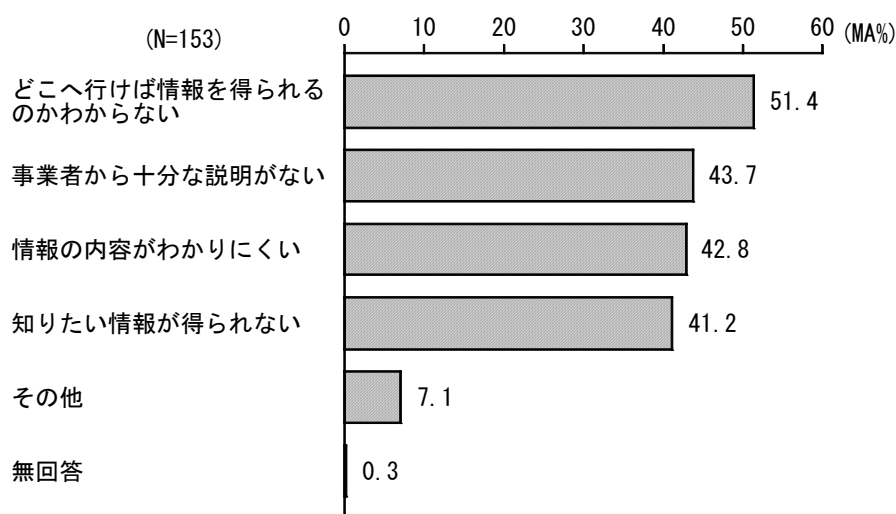
表 2-22 事業者やサービス内容に関する情報への満足度〔未利用者との比較〕

	調査数 (N)	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
居宅サービス利用者	1837	27.1	18.8	39.4	6.8	1.5	6.4
居宅サービス未利用者	670	7.5	4.9	35.5	12.8	6.6	32.7

未利用者と比較すると、満足している人は利用者のほうが高く、未利用者より33.5ポイント高くなっている。

## イ 不満を感じている点

図 2-38 不満を感じている点



不満を感じている点としては、「どこへ行けば情報を得られるのかわからない」が51.4%と最も多く、次いで「事業者から十分な説明がない」(43.7%)、「情報の内容がわかりにくい」(42.8%)の順で多くなっている。

表 2-23 不満を感じている点〔未利用者との比較〕

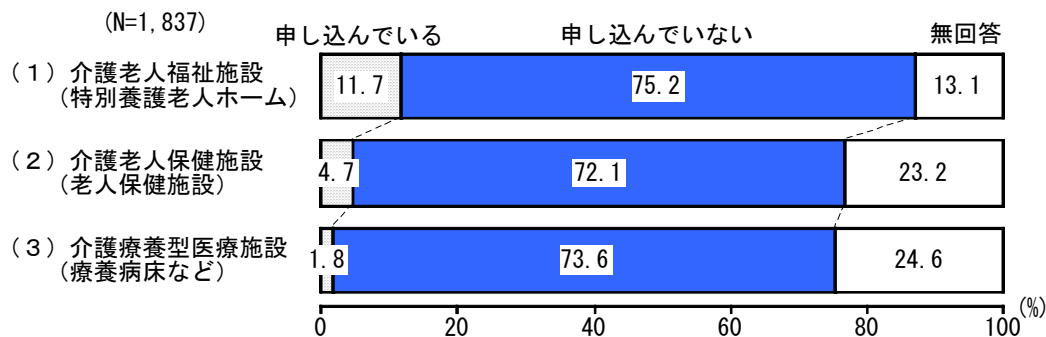
	調査数 (N)	(MA%)					無回答
		な い り たい 情 報 が 得 ら れ	ら ど れ こ へ の 行 か け か 情 報 を 得	が 事 業 者 か ら 十 分 な 説 明	く 情 報 の 内 容 が わ か り に	そ の 他	
居宅サービス利用者	153	41.2	51.4	43.7	42.8	7.1	0.3
居宅サービス未利用者	130	49.3	59.6	21.8	37.7	4.6	1.8

未利用者と比較すると、利用者と同様、未利用者も「どこへ行けば情報を得られるのかわからない」が最も多く、利用者より8.2ポイント高くなっている。

(5) 介護保険施設への入所申込状況

ア 施設への申込みの有無

図 2-39 施設への申込みの有無



介護保険施設への申込み状況をみると、「申し込んでいる」は、介護老人福祉施設が11.7%、介護老人保健施設が4.7%、介護療養型医療施設が1.8%となっている。

表 2-24 施設への申込みの有無〔前回調査との比較〕

	(1) 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム)				(2) 介護老人保健施設 (老人保健施設)				(3) 介護療養型医療施設 (療養病床など)			
	調査数 (N)	申し込んでいる (%)	申し込んでいない (%)	無回答 (%)	調査数 (N)	申し込んでいる (%)	申し込んでいない (%)	無回答 (%)	調査数 (N)	申し込んでいる (%)	申し込んでいない (%)	無回答 (%)
今回調査 (平成19年)	1837	11.7	75.2	13.1	1837	4.7	72.1	23.2	1837	1.8	73.6	24.6
前回調査 (平成16年)	1871	8.7	72.3	18.9	1871	3.9	71.4	24.7	1871	1.6	72.2	26.2

平成16年実施の前回調査と比較すると、「申し込んでいる」はいずれの施設も今回調査のほうが高い割合となっている。



表 2-25 要介護度別 施設への申込みの有無

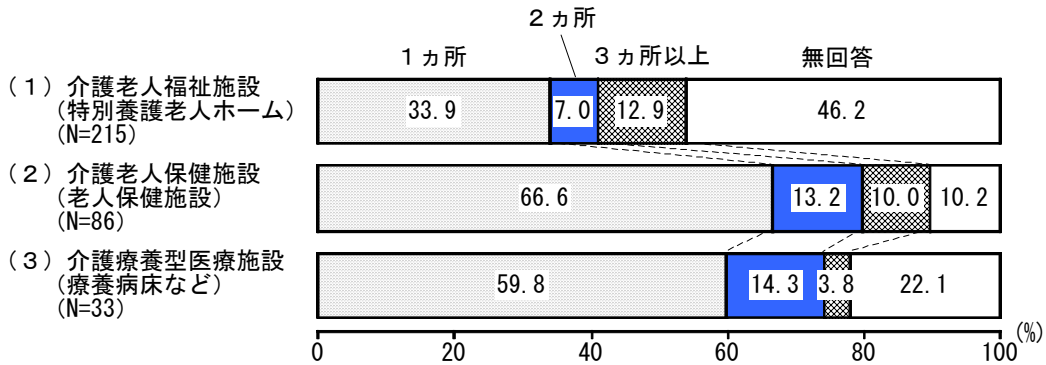
(1) 介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム） (2) 介護老人保健施設（老人保健施設） (3) 介護療養型医療施設（療養病床など）

	調査数 (N)	介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）			介護老人保健施設（老人保健施設）			介護療養型医療施設（療養病床など）		
		申し込んでいる	申し込んでいない	無回答	申し込んでいる	申し込んでいない	無回答	申し込んでいる	申し込んでいない	無回答
要支援1	109	6.7	71.8	21.5	2.1	67.0	30.9	0.9	67.9	31.2
要支援2	273	5.9	75.9	18.1	1.9	73.4	24.7	0.6	73.4	25.9
要介護1	329	6.5	80.1	13.4	3.2	76.9	19.9	0.5	77.4	22.0
要介護2	520	8.9	80.8	10.3	5.4	74.6	20.1	0.4	77.7	21.9
要介護3	296	17.3	69.0	13.7	6.7	67.5	25.9	2.4	69.4	28.2
要介護4	196	25.4	64.9	9.7	7.3	66.5	26.2	5.6	68.1	26.2
要介護5	114	20.1	71.2	8.8	5.1	71.2	23.7	7.3	70.8	21.9
合計	1837	11.7	75.2	13.1	4.7	72.1	23.2	1.8	73.6	24.6

介護保険施設への申込み状況を要介護度別にみると、介護老人福祉施設では「申し込んでいる」は高い介護度で割合が高くなる傾向があり、要介護4・5で2割台となっている。介護老人保健施設では「申し込んでいる」は要介護4が最も高く、介護療養型医療施設では要介護5が最も高くなっている。

イ 申込み施設数

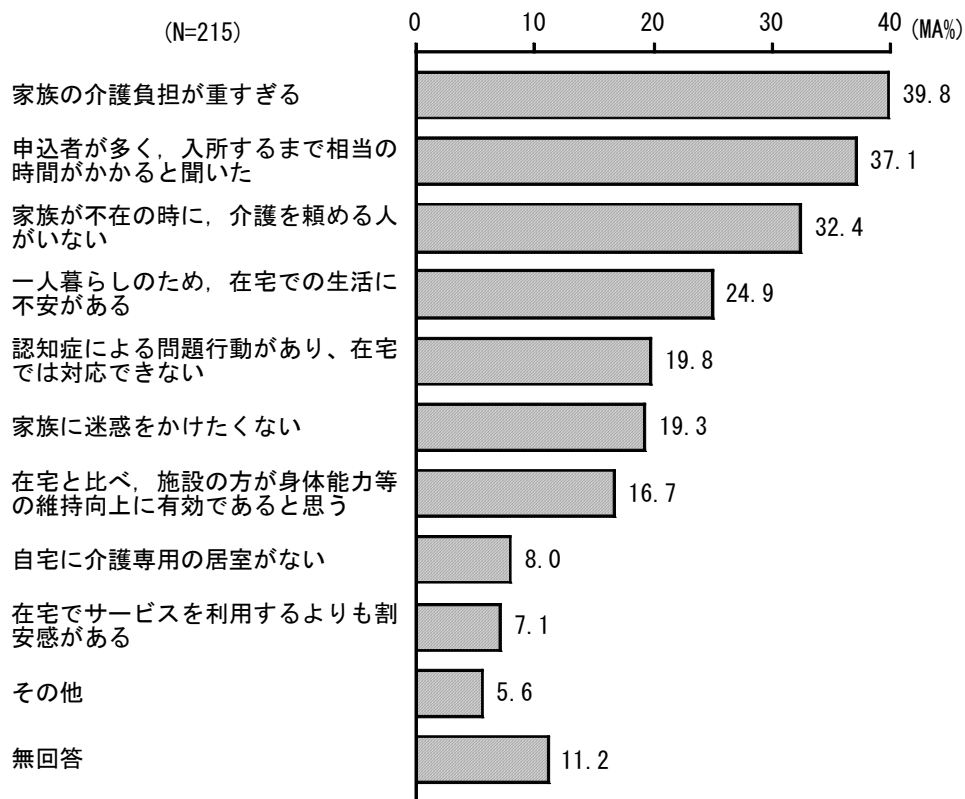
図 2-40 申込み施設数



申込み施設数については、介護老人福祉施設は「1カ所」が33.9%と最も多く、次いで「3カ所以上」(12.9%)となっている。介護老人保健施設及び介護療養型医療施設についても、「1カ所」がそれぞれ66.6%、59.8%と過半数を占めている。

## ウ 介護老人福祉施設に入所申込みをした理由

図 2-41 介護老人福祉施設に入所申込みをした理由



介護老人福祉施設に入所申込みをした理由としては、「家族の介護負担が重すぎる」が39.8%で最も多く、次いで「申込者が多く、入所するまで相当の時間がかかると聞いた」(37.1%)、「家族が不在の時に、介護を頼める人がいない」(32.4%)、「一人暮らしのため、在宅での生活に不安がある」(24.9%)などとなっている。

表 2-26 施設への早急な入所希望の有無別 介護老人福祉施設に入所申込みをした理由

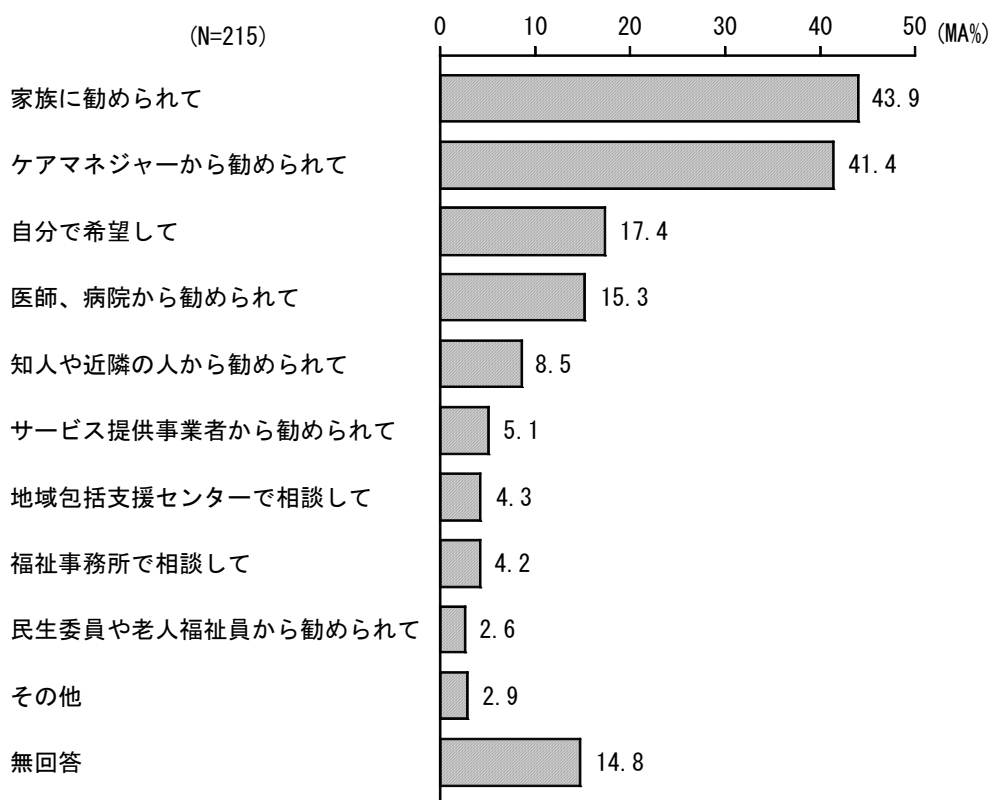
	調査数 (N)	家族の介護負担が重すぎる	とまで聞いた	申込者が多く、時間が入所にかかる	家族が不在の時に、介護を頼める人がいない	一人暮らしのため、在宅で生活に不安がある	あり、在宅では問題行動がない	認知症による問題行動がある	家族に迷惑をかけたくない	在宅と比べ、施設の方が身体能力等の維持向上に有効であると思う	自宅に介護専用の居室がない	在宅でサービスを利用するよりも割安感がある	その他	無回答
早急な入所を希望する	66	57.0	50.8	42.8	32.6	28.4	20.6	19.9	6.6	9.0	2.3	3.0		
しばらくは在宅でやっていけるため、早急な入所を希望しない	79	31.4	37.8	29.6	16.2	11.7	18.1	15.9	7.7	4.0	4.5	14.4		
現在入院中で治療が必要な状態のため、早急な入所を希望しない	12	30.5	20.1	6.9	22.8	39.4	10.6	35.9	6.9	19.3	-	20.2		
その他	15	53.4	26.9	34.5	21.2	42.4	23.7	16.1	13.3	10.2	9.9	-		
無回答	43	26.4	22.9	28.2	30.7	8.1	20.3	8.2	9.1	5.4	12.7	19.3		
合計	215	39.8	37.1	32.4	24.9	19.8	19.3	16.7	8.0	7.1	5.6	11.2		

介護老人福祉施設に入所申込みをした理由を施設への早急な入所希望の有無別にみると、早急な入所を希望する人は「家族の介護負担が重すぎる」(57.0%)が最も多い。また、しば

らくは在宅でやっていけるため、早急な入所を希望しない人は「申込者が多く、入所するまで相当の時間がかかると聞いた」(37.8%)が、現在入院中で治療が必要な状態のため、早急な入所を希望しない人は「認知症による問題行動があり、在宅では対応できない」(39.4%)がそれぞれ最も多くなっている。

## エ 介護老人福祉施設に入所申込みをしたきっかけ

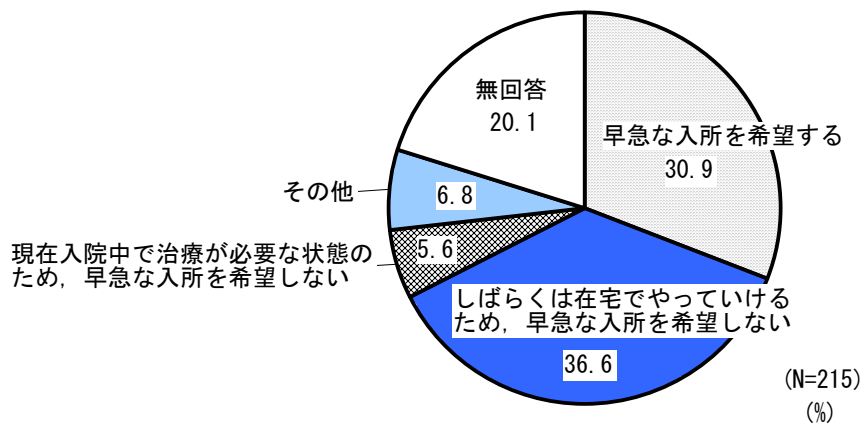
図 2-42 介護老人福祉施設に入所申込みをしたきっかけ



介護老人福祉施設に入所申込みをしたきっかけについては、「家族に勧められて」が43.9%で最も多く、次いで「ケアマネジャーから勧められて」(41.4%)が多くなっている。

オ 介護老人福祉施設への早急な入所希望の有無

図 2-43 介護老人福祉施設への早急な入所希望の有無



介護老人福祉施設への早急な入所を希望している人は30.9%であり、「しばらくは在宅でやっていけるため早急な入所を希望しない」が36.6%となっている。

表 2-27 要介護度別 介護老人福祉施設への早急な入所希望の有無

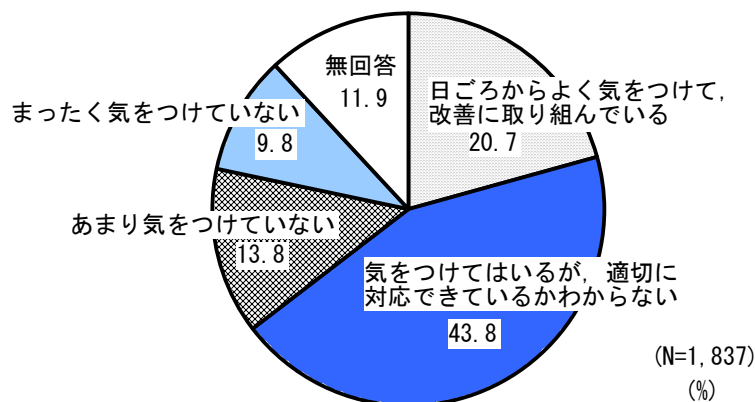
	調査数 (N)	早急な入所を希望する (%)	をしばらくは在宅でやっていけるため、早急な入所を希望しない (%)	現在入院中で治療が必要なため、早急な入所を希望しない (%)	その他 (%)	無回答 (%)
要支援 1	7	18.2	36.4	-	13.6	31.8
要支援 2	16	26.3	47.4	10.5	-	15.8
要介護 1	21	8.3	33.3	-	-	58.3
要介護 2	46	40.0	30.0	5.0	5.0	20.0
要介護 3	51	27.3	38.6	6.8	11.4	15.9
要介護 4	50	36.5	39.7	3.2	9.5	11.1
要介護 5	23	36.4	34.5	12.7	3.6	12.7
合計	215	30.9	36.6	5.6	6.8	20.1

介護老人福祉施設への早急な入所希望の有無を要介護度別にみると、「早急な入所を希望する」は要介護 2 (40.0%) で最も高く、要介護 4・5 でも 4 割弱と高くなっている。

#### 4 介護予防と介護のあり方について

##### (1)心身の変化に対する意識

図 2-44 心身の変化への対応・改善の有無



心身の変化に対して日ごろから配慮している人は全体の64.5%を占め、「改善に取り組んでいる」人は20.7%となっている。

表 2-28 心身の変化への対応・改善の有無〔前回調査との比較〕

	調査数 (N)	て、日ごろからよく気をつけている	ない気をつけてはいるが、適切	あまり気をつけていない	まったく気をつけていない	無回答
今回調査 (平成19年)	1837	20.7	43.8	13.8	9.8	11.9
前回調査 (平成16年)	1871	25.8	40.9	13.8	8.9	10.6

(%)

心身の変化への対応・改善の有無について前回調査と比較すると、「日ごろからよく気をつけて、改善に取り組んでいる」は前回調査より5.1ポイント低くなっているが、心身の変化に対して日ごろから配慮している人の割合は、大きな差がみられない。

表 2-29 要介護度別 心身の変化への対応・改善の有無

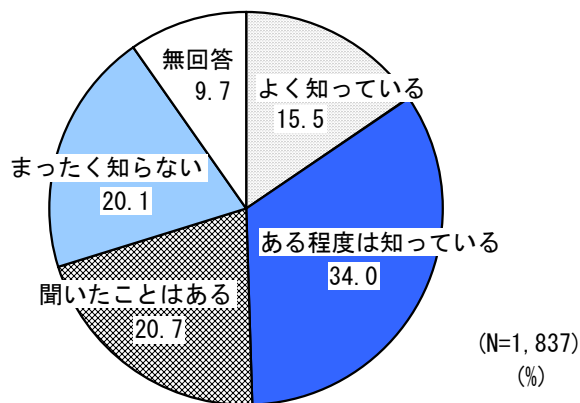
	調査数 (N)	て、日 ご ろ か ら 改 善 に 取 り 組 ん で い け る	な い に 対 応 で き て い る か わ か ら な い	あ ま り 気 を つ け て い な い	ま っ た く 気 を つ け て い な い	無 回 答
要支援 1	109	35.5	49.1	6.7	1.2	7.6
要支援 2	273	34.1	48.1	6.6	1.6	9.7
要介護 1	329	22.6	45.2	10.8	8.1	13.4
要介護 2	520	17.4	46.0	17.0	9.4	10.3
要介護 3	296	15.3	39.2	17.3	15.3	12.9
要介護 4	196	11.7	40.7	19.0	15.7	12.9
要介護 5	114	13.5	31.8	15.0	19.7	20.1
合計	1837	20.7	43.8	13.8	9.8	11.9

心身の変化への対応・改善の有無について要介護度別にみると、心身の変化に対して日ごろから配慮している人は要支援 1・2 で80%台と高く、要介護 1・2 でも60%台となっている。

## (2) 介護予防に関する知識と取り組み

### ア 介護予防の認知状況

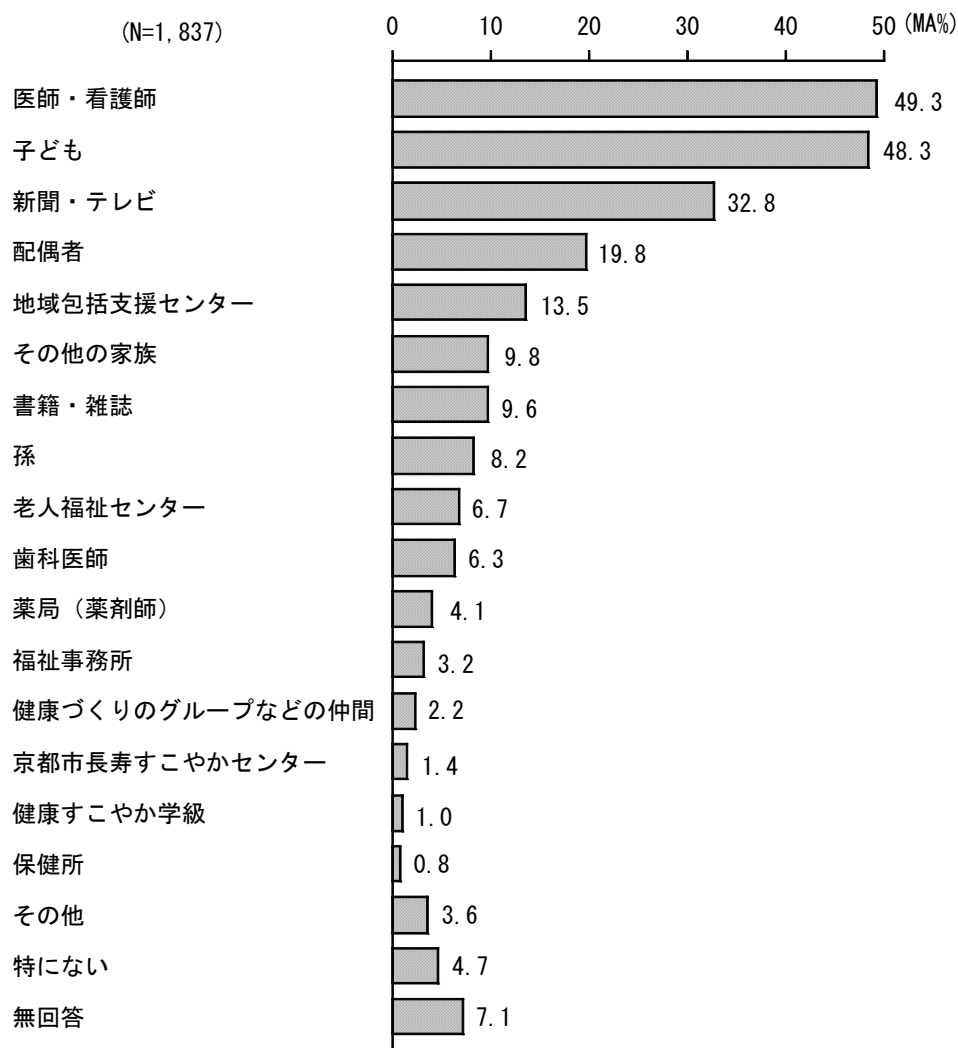
図 2-45 介護予防の認知状況



介護予防について『知っている (計)』(「よく知っている」に「ある程度は知っている」を加えた割合) と答えた人は49.5%となっている。

## イ 介護予防等に関する情報の入手方法

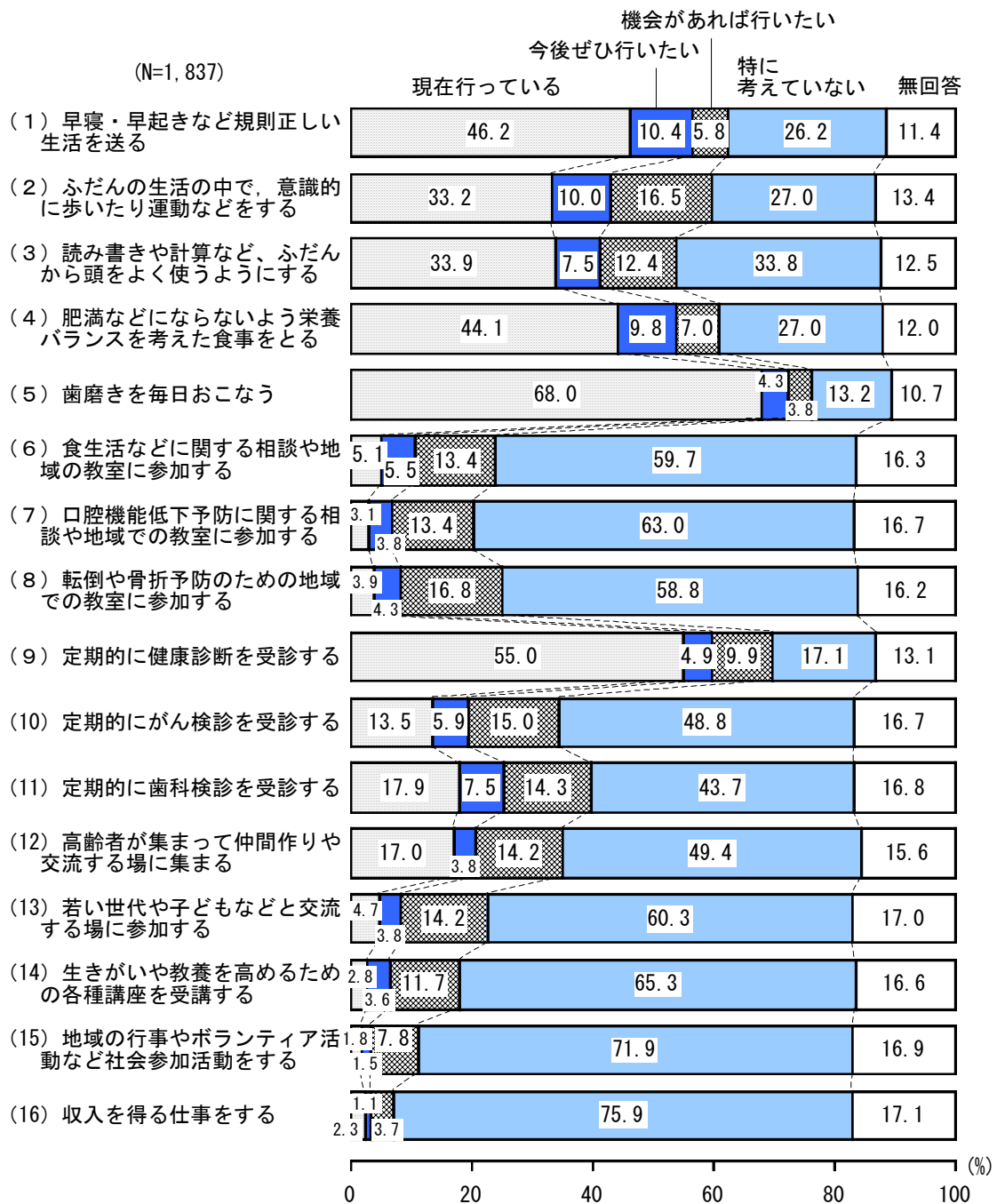
図 2-46 介護予防等に関する情報の入手方法



介護予防等に関する情報の入手方法は、「医師・看護師」が49.3%と最も多く、次いで「子ども」が48.3%、「新聞・テレビ」が32.8%となっている。

## ウ 病気・老化の予防のために取り組んでいること・取組への考え

図 2-47 病気・老化の予防のため取り組んでいること・取組への考え



病気・老化予防のために取り組んでいることとしては、『歯磨きを毎日おこなう』が68.0%と最も多く、次いで『定期的に健康診断を受診する』(55.0%)、『早寝・早起きなど規則正しい生活を送る』(46.2%)、『肥満などにならないよう栄養バランスを考えた食事をする』(44.1%) などとなっている。

今後の取組への考えをみると、意向(「今後ぜひ行いたい」に「機会があれば行いたい」を加えた割合)の高い活動は、『ふだんの生活の中で、意識的に歩いたり運動などをする』(26.5%)が最も多く、『定期的に歯科検診を受診する』(21.8%)、『転倒や骨折予防のための地域での教室に参加する』(21.1%)、『定期的ながん検診を受診する』(20.9%)などが多くなっている。



表 2-30 要介護度別 病気・老化の予防のため取り組んでいること・取組への考え①

(1) 早寝・早起きなど規則正しい生活を送る

(2) ふだんの生活の中で、意識的に歩いたり運動などをする

(3) 読み書きや計算など、ふだんから頭をよく使うようにする

調査数 (N)	(1) 早寝・早起きなど規則正しい生活を送る (%)					(2) ふだんの生活の中で、意識的に歩いたり運動などをする (%)					(3) 読み書きや計算など、ふだんから頭をよく使うようにする (%)					
	現在行っている	今後ぜひ行いたい	た機会があれば行い	特に考えていない	無回答	現在行っている	今後ぜひ行いたい	た機会があれば行い	特に考えていない	無回答	現在行っている	今後ぜひ行いたい	た機会があれば行い	特に考えていない	無回答	
要支援1	109	50.3	14.8	6.1	17.0	11.8	47.9	11.8	14.5	14.5	11.2	56.1	7.6	8.8	15.5	12.1
要支援2	273	51.3	10.9	5.9	21.3	10.6	46.3	12.2	13.1	18.1	10.3	53.4	9.4	9.1	17.2	10.9
要介護1	329	48.9	9.7	5.9	26.3	9.1	41.4	11.8	12.9	21.5	12.4	39.2	5.9	11.3	33.9	9.7
要介護2	520	48.2	12.5	5.8	24.1	9.4	32.6	9.8	18.3	27.2	12.1	34.4	8.5	12.1	34.8	10.3
要介護3	296	40.8	9.0	5.1	31.0	14.1	23.9	9.0	20.4	31.0	15.7	19.6	6.7	16.5	41.6	15.7
要介護4	196	45.6	7.7	5.6	30.2	10.9	21.4	7.3	18.5	39.9	12.9	19.4	6.5	16.1	44.4	13.7
要介護5	114	27.7	5.8	7.3	37.2	21.9	12.0	5.1	14.2	42.0	26.6	9.9	6.2	12.4	47.4	24.1
合計	1837	46.2	10.4	5.8	26.2	11.4	33.2	10.0	16.5	27.0	13.4	33.9	7.5	12.4	33.8	12.5

(4) 肥満などにならないよう栄養バランスを考えた食事をとる

(5) 歯磨きを毎日おこなう

(6) 食生活などに関する相談や地域の教室に参加する

調査数 (N)	(4) 肥満などにならないよう栄養バランスを考えた食事をとる (%)					(5) 歯磨きを毎日おこなう (%)					(6) 食生活などに関する相談や地域の教室に参加する (%)					
	現在行っている	今後ぜひ行いたい	た機会があれば行い	特に考えていない	無回答	現在行っている	今後ぜひ行いたい	た機会があれば行い	特に考えていない	無回答	現在行っている	今後ぜひ行いたい	た機会があれば行い	特に考えていない	無回答	
要支援1	109	51.8	16.7	5.5	14.5	11.5	86.1	3.0	0.6	2.1	8.2	7.6	6.4	21.5	49.7	14.8
要支援2	273	55.6	11.3	7.5	15.0	10.6	82.5	0.6	0.3	7.5	9.1	5.9	8.8	16.9	51.6	16.9
要介護1	329	47.8	9.7	7.5	25.3	9.7	74.7	4.3	3.2	8.6	9.1	6.5	4.8	16.1	55.9	16.7
要介護2	520	40.2	9.8	5.8	33.5	10.7	70.1	3.6	4.9	12.5	8.9	4.0	6.3	10.3	65.6	13.8
要介護3	296	39.2	8.2	7.1	30.6	14.9	55.3	7.1	5.1	18.8	13.7	4.3	4.3	13.3	60.4	17.6
要介護4	196	41.9	8.5	9.7	28.6	11.3	53.6	7.3	6.9	21.4	10.9	4.4	3.2	11.3	66.9	14.1
要介護5	114	33.2	6.9	6.2	31.0	22.6	44.5	4.7	3.3	25.5	21.9	5.5	1.8	7.3	58.4	27.0
合計	1837	44.1	9.8	7.0	27.0	12.0	68.0	4.3	3.8	13.2	10.7	5.1	5.5	13.4	59.7	16.3

(7) 口腔機能低下予防に関する相談や地域での教室に参加する

(8) 転倒や骨折予防のための地域での教室に参加する

(9) 定期的に健康診断を受診する

調査数	(7) 口腔機能低下予防に関する相談や地域での教室に参加する (%)					(8) 転倒や骨折予防のための地域での教室に参加する (%)					(9) 定期的に健康診断を受診する (%)					
	現在行っている	今後ぜひ行いたい	た機会があれば行い	特に考えていない	無回答	現在行っている	今後ぜひ行いたい	た機会があれば行い	特に考えていない	無回答	現在行っている	今後ぜひ行いたい	た機会があれば行い	特に考えていない	無回答	
要支援1	109	3.6	3.9	18.2	57.3	17.0	6.4	6.1	21.5	48.5	17.6	63.3	5.2	8.8	10.9	11.8
要支援2	273	4.1	5.9	16.6	57.5	15.9	4.7	7.2	22.2	49.7	16.3	58.8	5.3	9.1	15.3	11.6
要介護1	329	3.2	3.8	15.1	61.3	16.7	7.0	5.4	16.7	55.4	15.6	57.0	5.9	11.3	14.0	11.8
要介護2	520	2.7	3.1	12.5	67.9	13.8	3.1	4.0	17.0	62.9	12.9	58.9	4.9	8.5	16.1	11.6
要介護3	296	3.5	3.1	13.7	60.8	18.8	2.0	1.6	16.9	61.2	18.4	45.9	5.1	12.5	20.8	15.7
要介護4	196	2.4	4.0	9.3	69.4	14.9	2.0	2.8	12.9	67.3	14.9	54.0	3.2	10.1	20.6	12.1
要介護5	114	2.6	2.6	6.9	59.1	28.8	1.8	3.6	6.2	61.3	27.0	39.8	2.6	8.8	25.9	23.0
合計	1837	3.1	3.8	13.4	63.0	16.7	3.9	4.3	16.8	58.8	16.2	55.0	4.9	9.9	17.1	13.1

(10) 定期的にがん検診を受診する

(11) 定期的に歯科検診を受診する

(12) 高齢者が集まって仲間作りや交流する場集まる

調査数	(10) 定期的にがん検診を受診する (%)					(11) 定期的に歯科検診を受診する (%)					(12) 高齢者が集まって仲間作りや交流する場集まる (%)					
	現在行っている	今後ぜひ行いたい	た機会があれば行い	特に考えていない	無回答	現在行っている	今後ぜひ行いたい	た機会があれば行い	特に考えていない	無回答	現在行っている	今後ぜひ行いたい	た機会があれば行い	特に考えていない	無回答	
要支援1	109	18.5	9.7	15.5	38.8	17.6	22.7	12.1	12.4	33.6	19.1	17.0	4.5	14.8	49.1	14.5
要支援2	273	18.1	7.5	14.4	41.3	18.8	20.6	9.1	13.8	37.5	19.1	17.8	6.9	10.9	49.7	14.7
要介護1	329	15.6	6.5	19.4	43.0	15.6	19.4	8.6	14.0	41.4	16.7	21.5	5.4	12.4	44.6	16.1
要介護2	520	13.4	4.9	15.6	52.2	13.8	15.6	5.8	15.6	49.1	13.8	15.2	2.7	18.8	50.4	12.9
要介護3	296	10.6	5.5	12.5	52.5	18.8	15.7	7.8	14.5	43.1	18.8	16.9	3.1	13.3	48.2	18.4
要介護4	196	10.9	5.2	13.7	56.0	14.1	20.2	7.3	14.1	46.8	11.7	18.1	1.6	14.1	52.8	13.3
要介護5	114	4.7	4.0	9.9	55.1	26.3	14.2	2.9	11.3	45.6	25.9	8.8	1.5	8.4	54.7	26.6
合計	1837	13.5	5.9	15.0	48.8	16.7	17.9	7.5	14.3	43.7	16.8	17.0	3.8	14.2	49.4	15.6

表 2-30 要介護度別 病気・老化の予防のため取り組んでいること・取組への考え②

	調査数	(13) 若い世代や子どもなどと交流する場に参加する (%)					(14) 生きがいや教養を高めるための各種講座を受講する (%)					(15) 地域の行事やボランティア活動など社会参加活動をする (%)				
		現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答	現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
要支援1	109	6.7	4.8	14.5	57.3	16.7	5.8	5.8	16.1	55.5	17.0	4.2	1.2	10.9	66.1	17.6
要支援2	273	6.6	5.6	13.1	57.5	17.2	5.3	7.2	13.8	57.5	16.3	4.4	2.5	9.1	65.9	18.1
要介護1	329	7.0	6.5	14.5	54.3	17.7	4.8	3.8	16.1	59.1	16.1	1.6	1.6	13.4	66.7	16.7
要介護2	520	2.2	1.8	15.2	67.0	13.8	1.3	3.6	9.8	71.9	13.4	1.3	0.9	4.5	79.9	13.4
要介護3	296	5.1	2.7	14.9	58.0	19.2	2.0	1.2	9.8	67.5	19.6	0.8	1.6	6.7	72.2	18.8
要介護4	196	3.6	3.6	13.7	64.1	14.9	0.8	2.0	10.5	71.0	15.7	0.8	2.0	7.3	74.6	15.3
要介護5	114	3.6	2.6	9.5	56.9	27.4	-	1.5	5.8	65.3	27.4	0.4	1.5	4.7	65.3	28.1
合計	1837	4.7	3.8	14.2	60.3	17.0	2.8	3.6	11.7	65.3	16.6	1.8	1.5	7.8	71.9	16.9

	調査数	(16) 収入を得る仕事をする (%)				
		現在行っている	今後ぜひ行いたい	機会があれば行いたい	特に考えていない	無回答
要支援1	109	2.7	0.9	7.0	70.9	18.5
要支援2	273	1.6	1.9	5.0	72.2	19.4
要介護1	329	1.6	1.1	2.2	79.0	16.1
要介護2	520	4.5	1.3	4.0	77.2	12.9
要介護3	296	1.6	0.4	3.5	76.1	18.4
要介護4	196	0.4	0.8	2.4	79.4	16.9
要介護5	114	1.1	1.1	2.6	67.2	28.1
合計	1837	2.3	1.1	3.7	75.9	17.1

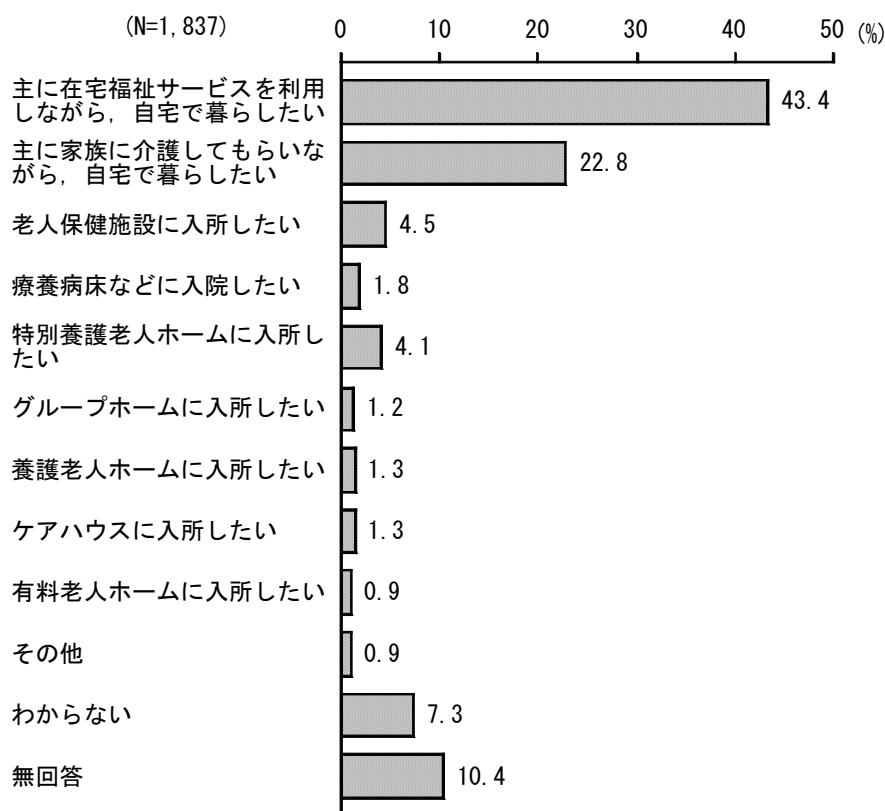
病気・老化予防のために取り組んでいることについて要介護度みると、『早寝・早起きなど規則正しい生活を送る』や『読み書きや計算など、ふだんから頭をよく使うようにする』、『肥満などにならないよう栄養バランスを考えた食事をとる』、『歯磨きを毎日おこなう』、『定期的に健康診断を受診する』などは要支援1・2で50%以上を占め、高くなっている。

今後の取組への考え（「今後ぜひ行いたい」に「機会があれば行いたい」を加えた割合）を要介護度別にみると、『ふだんの生活の中で、意識的に歩いたり運動などをする』と『定期的に歯科検診を受診する』は要介護5以外の要介護度で20%台と高くなっている。また、『早寝・早起きなど規則正しい生活を送る』『肥満などにならないよう栄養バランスを考えた食事をとる』、『口腔機能低下予防に関する相談や地域での教室に参加する』『収入を得る仕事をする』などは要介護度が高くなるほど割合が低くなる傾向があり、一方で『読み書きや計算など、ふだんから頭をよく使うようにする』は要介護4・5の高い要介護度で割合が高くなっている。

### (3) 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方

#### ア 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方

図 2-48 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方



調査対象者本人に介護が必要となった場合に希望する暮らし方としては、「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」が43.4%、「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」が22.8%となっており、合計すると全体の66.2%が自宅での生活を希望している。

表 2-31 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方〔未利用者との比較〕

	調査数 (N)	主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい (%)	主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい (%)	老人保健施設に入所したい (%)	療養病床などに入所したい (%)	特別養護老人ホームに入所したい (%)	グループホームに入所したい (%)	養護老人ホームに入所したい (%)	ケアハウスに入所したい (%)	有料老人ホームに入所したい (%)	その他 (%)	わからない (%)	無回答 (%)
居宅サービス利用者	1837	43.4	22.8	4.5	1.8	4.1	1.2	1.3	1.3	0.9	0.9	7.3	10.4
居宅サービス未利用者	670	31.1	30.8	3.6	4.8	2.9	0.1	0.5	1.3	1.6	1.5	6.0	15.8

調査対象者本人に介護が必要となった場合に希望する暮らし方について未利用者と比較すると、「主に在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい」は未利用者より利用者の法が12.3ポイント高く、「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」は未利用者のほうが8ポイント高くなっている。

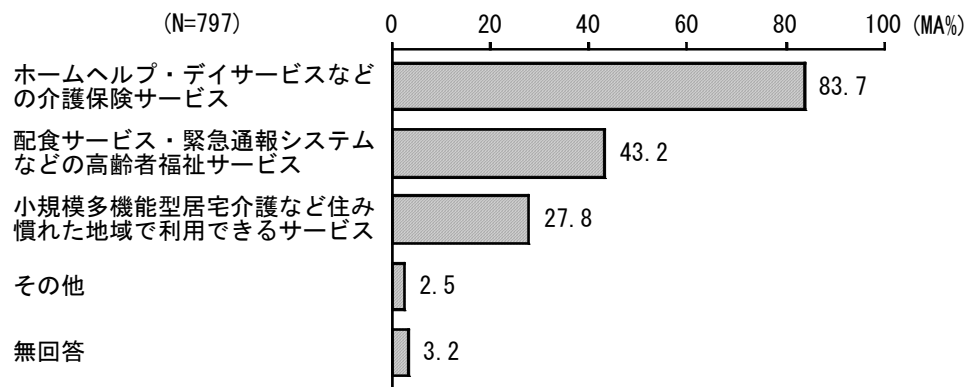
表 2-32 世帯構成別 介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方

	調査数 (N)	主ながら在宅福祉サービスを利用しながら、自宅で暮らしたい	主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい	老人保健施設に入所したい	療養病床などに入院したい	い特別養護老人ホームに入所したい	グループホームに入所したい	養護老人ホームに入所したい	ケアハウスに入所したい	有料老人ホームに入所したい	その他	わからない	無回答
ひとり暮らし	534	53.0	8.9	4.2	1.0	5.9	2.9	1.6	1.8	2.0	0.3	8.0	10.3
夫婦のみ (2人ともに65歳以上)	416	46.8	23.5	3.4	1.2	3.3	0.1	1.1	0.9	0.5	0.6	8.5	10.1
夫婦のみ (上記以外の夫婦世帯)	28	25.1	38.7	16.9	-	3.1	-	3.1	3.1	-	-	3.1	6.9
兄弟姉妹のみ (全員65歳以上)	14	45.7	14.7	16.2	2.9	8.1	-	-	-	-	-	-	12.4
兄弟姉妹のみ (上記以外の兄弟姉妹世帯)	4	65.8	11.8	22.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
あなたと親 (二世帯同居)	23	34.9	17.6	10.3	-	-	-	7.9	3.5	-	-	10.3	15.5
あなたと子供 (二世帯同居)	440	37.6	31.6	3.3	2.2	2.9	0.1	1.2	1.5	0.2	1.6	6.2	11.4
あなたと子供と孫 (三世帯同居)	281	33.9	35.4	4.8	3.8	4.4	1.5	0.6	0.9	0.8	-	5.9	8.0
あなたと親と子供 (三世帯同居)	2	79.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.9	-
その他	49	35.8	22.9	8.3	-	0.7	4.7	0.7	-	-	8.3	10.1	8.6
無回答	47	32.1	15.1	7.2	5.6	4.9	-	2.5	1.8	1.7	1.8	5.9	21.5
合計	1837	43.4	22.8	4.5	1.8	4.1	1.2	1.3	1.3	0.9	0.9	7.3	10.4

介護や援護が必要となった場合に希望する暮らし方について世帯構成別にみると、夫婦のみ（いずれかが65歳以上の夫婦世帯）とあなたと子供と孫（三世帯同居）は「主に家族に介護してもらいながら、自宅で暮らしたい」が最も多く、それ以外の世帯では「主に在宅福祉サービスを利用しながら自宅で暮らしたい」となっており、いずれの世帯も自宅で暮らすことを望んでいることがうかがえる。

イ 在宅福祉サービスの利用意向

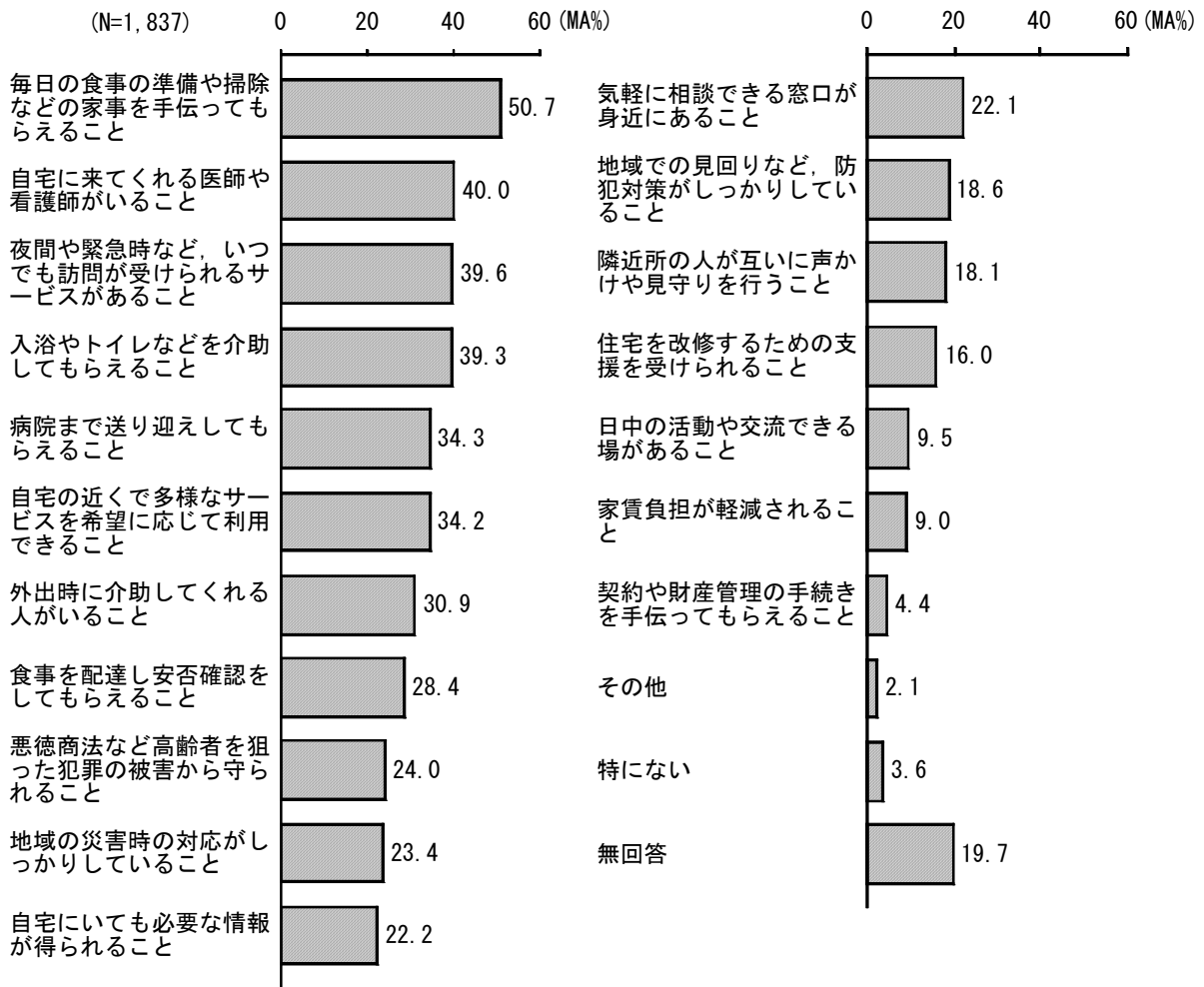
図 2-49 在宅福祉サービスの利用意向



自宅で在宅福祉サービスを利用しながら暮らしていく場合に利用したいサービスについては、「ホームヘルプ・デイサービスなどの介護保険サービス」が83.7%で最も多く、次いで「配食サービス・緊急通報システムなどの高齢者福祉サービス」（43.2%）となっている。

(4) 在宅生活を続けていく上で必要な支援

図 2-50 在宅生活を続けていく上で必要な支援



在宅生活を続けていく上で必要な支援としては、「毎日の食事の準備や掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらえること」が50.7%と最も多く、次いで「自宅に来てくれる医師や看護師がいること」(40.0%)、「夜間や緊急時など、いつでも訪問が受けられるサービスがあること」(39.6%)、「入浴やトイレなどを介助してもらえること」(39.3%) などとなっている。

表 2-33 世帯構成別 在宅生活を続けていく上で必要な支援

	調査数 (N)	毎日の食事を準備や掃除などの手伝ってもらえること	自宅に来る看護師や介護士がいてくれること	夜間や緊急時など、いつでも訪問があること	入浴やトイレなどを介助してもらえること	病院まで送り迎えしてもらえること	自宅の近くで多様なサービスを提供していること	外出時に介助してもらえる人がいること	食事を配達し安否確認してもらえること	悪徳商法など高齢者を狙った犯罪の被害から守られること	地域の災害時の対応が
ひとり暮らし	534	55.8	38.2	40.4	32.1	33.5	31.2	34.4	38.1	29.7	29.9
夫婦のみ (2人ともに65歳以上)	416	59.7	44.2	42.9	39.1	38.7	29.0	28.5	26.5	25.9	23.4
夫婦のみ (上記以外の夫婦世帯)	28	42.4	22.3	32.6	37.3	43.5	33.3	46.6	28.2	28.7	39.3
兄弟姉妹のみ (全員65歳以上)	14	47.1	44.6	63.2	35.8	47.1	26.4	41.1	8.1	26.4	29.4
兄弟姉妹のみ (上記以外の兄弟姉妹世帯)	4	88.2	88.2	88.2	88.2	22.4	88.2	88.2	65.8	-	-
あなたと親 (二世帯同居)	23	43.6	38.2	34.9	37.9	36.6	36.6	22.5	36.6	15.7	24.3
あなたと子供 (二世帯同居)	440	45.7	39.7	41.1	46.4	34.9	40.2	31.3	25.6	22.8	22.3
あなたと子供と孫 (三世帯同居)	281	41.5	40.7	35.3	45.6	30.1	42.7	28.8	19.5	15.8	16.4
あなたと親と子供 (三世帯同居)	2	79.1	20.9	-	20.9	20.9	20.9	20.9	79.1	20.9	-
その他	49	40.5	36.7	22.5	25.4	22.0	30.0	27.4	20.7	12.4	13.1
無回答	47	30.7	33.4	25.0	31.4	27.7	12.5	10.6	20.4	18.6	4.5
合計	1837	50.7	40.0	39.6	39.3	34.3	34.2	30.9	28.4	24.0	23.4

	が自宅にいても必要な情報が得られること	身近に相談できる窓口があること	地域での見回りなど、防犯対策がしっかりと行われていること	隣近所の人が行うこと、声かけや見守りなど、防犯対策がしっかりと行われていること	住宅を改修するための支援を受けられること	日中の活動や交流できる場があること	と家賃負担が軽減されること	を契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること	その他	特になし	無回答
ひとり暮らし	25.7	26.7	27.5	26.3	18.2	11.5	11.7	6.2	2.5	3.4	19.4
夫婦のみ (2人ともに65歳以上)	21.2	21.6	16.5	15.0	15.5	8.2	10.2	5.9	1.6	2.1	18.6
夫婦のみ (上記以外の夫婦世帯)	26.2	34.2	29.1	24.1	16.2	21.9	17.7	1.5	-	6.2	27.1
兄弟姉妹のみ (全員65歳以上)	32.8	-	23.4	8.9	21.2	-	16.2	-	-	14.7	16.2
兄弟姉妹のみ (上記以外の兄弟姉妹世帯)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11.8
あなたと親 (二世帯同居)	13.8	10.3	17.3	17.3	8.7	5.2	7.0	3.5	-	5.2	22.0
あなたと子供 (二世帯同居)	22.7	20.4	14.4	14.8	18.5	8.8	7.3	2.5	2.3	3.5	20.0
あなたと子供と孫 (三世帯同居)	18.7	19.2	12.9	14.0	13.7	8.9	4.6	3.1	1.7	4.3	18.6
あなたと親と子供 (三世帯同居)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20.9	-
その他	15.9	13.9	15.0	15.2	4.1	9.4	4.1	3.6	6.4	8.8	19.3
無回答	14.1	25.0	8.9	11.1	2.6	6.7	10.6	0.9	1.7	4.4	32.9
合計	22.2	22.1	18.6	18.1	16.0	9.5	9.0	4.4	2.1	3.6	19.7

在宅生活を続けていく上で必要な支援を世帯構成別にみると、「毎日の食事の準備や掃除などの家事を手伝ってもらえること」は兄弟姉妹のみ (全員65歳以上の世帯以外の兄弟姉妹世帯) が88.2%で最も高く、次いであなたと親と子供 (三世帯同居) (79.1%) となっている。

表 2-34 要介護度別 在宅生活を続けていく上で必要な支援

(MA%)

	調査数 (N)	毎日の食事を準備や掃除などの家事を手伝ってもらうこと	自宅に来てくれる医師や看護師がいること	いつでも訪問が受けられるサービスがあること	夜間や緊急時など、いつでも訪問が受けられること	入浴やトイレなどを介助してもらえること	病院まで送り迎えしてもらえること	自宅の近くで多様なサービスを提供していること	外出時に介助してくれる人がいること	食事を配達し安否確認をしてもらえること	悪徳商法など高齢者を狙った犯罪の被害から守られること	地域の災害時の対応が
要支援1	109	55.2	36.4	36.4	25.2	34.8	26.1	25.5	31.8	21.2	24.8	
要支援2	273	49.4	34.7	33.1	26.6	30.3	25.3	28.8	26.9	25.0	27.2	
要介護1	329	53.8	42.5	38.2	31.2	39.2	32.8	35.5	30.1	24.2	24.7	
要介護2	520	50.9	36.6	38.8	40.2	30.4	37.5	26.8	30.4	28.1	20.5	
要介護3	296	50.2	41.6	43.9	48.6	36.9	40.4	36.5	27.8	22.4	24.7	
要介護4	196	47.6	41.1	40.3	52.0	36.3	35.1	31.9	24.2	17.7	21.0	
要介護5	114	46.7	58.8	52.6	56.2	36.5	35.4	29.9	24.1	20.4	23.0	
合計	1837	50.7	40.0	39.6	39.3	34.3	34.2	30.9	28.4	24.0	23.4	

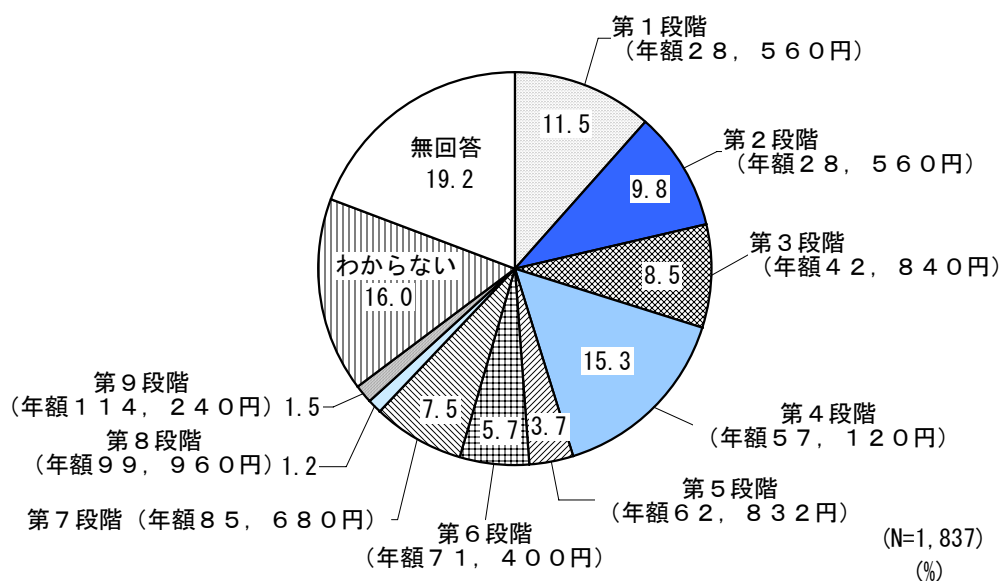
	が自宅にいても必要な情報が得られること	身近に相談できる窓口があること	地域での見回りなど、防犯対策がしっかりと行われていること	隣近所の人が行うこと、声かけや見守りを行うこと	住宅を改修するための支援を受けられること	日中の活動や交流できる場があること	と家賃負担が軽減されること	を契約や財産管理の手続きを手伝ってもらえること	その他	特にない	無回答
要支援1	25.2	23.3	23.6	21.8	13.3	9.4	12.1	5.5	1.2	1.8	18.5
要支援2	22.2	25.0	24.7	24.1	12.2	10.9	9.4	2.8	1.9	6.3	17.2
要介護1	28.0	23.7	19.9	19.9	19.9	10.2	8.6	7.0	3.2	2.7	20.4
要介護2	18.3	20.5	13.8	13.4	16.1	7.6	9.4	2.7	0.9	3.1	18.3
要介護3	22.4	18.4	20.8	18.8	16.9	11.8	7.8	5.9	3.1	3.9	23.1
要介護4	20.2	22.2	15.7	18.5	14.1	8.9	6.9	3.6	3.2	4.0	21.0
要介護5	23.0	26.3	16.8	13.5	17.9	8.0	11.3	5.1	1.5	2.2	19.3
合計	22.2	22.1	18.6	18.1	16.0	9.5	9.0	4.4	2.1	3.6	19.7

在宅生活を続けていく上で必要な支援について要介護度別にみると、「毎日の食事の準備や掃除・洗濯などの家事を手伝ってもらうこと」は要支援1と要介護1～3で50%台と高く、「入浴やトイレなどを介助してもらえること」や「夜間や緊急時など、いつでも訪問が受けられるサービスがあること」は、要介護度が高くなるほど割合が高くなる傾向がみられる。

## 5 介護保険制度について

### (1) 第1号被保険者保険料の所得段階区分

図 2-51 第1号被保険者保険料の所得段階区分

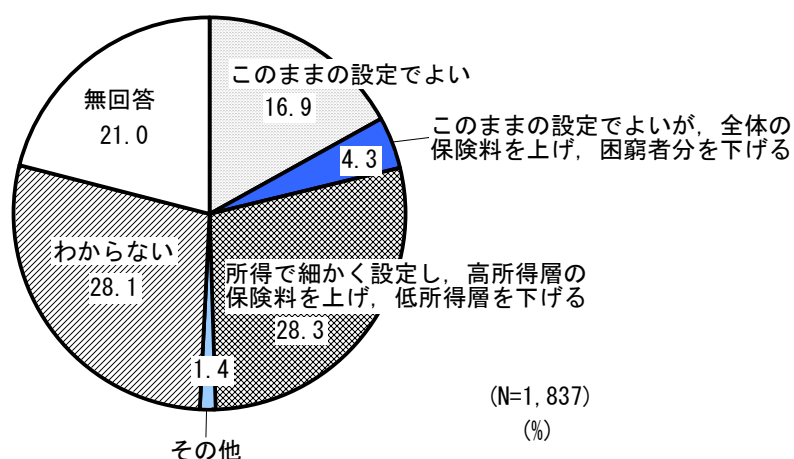


第1号被保険者保険料の所得段階区分は、「第4段階」が15.3%、「第1段階」が11.5%「第2段階」が9.8%と多くなっている。

### (2) 保険料の設定および給付・負担のあり方についての意向

#### ア 介護保険料の設定について

図 2-52 介護保険料の設定について



第1号被保険者の所得段階区分別保険料の設定方法については、「所得で細かく設定し、高所得層の保険料を上げ、低所得層を下げる」が28.3%と多く、「このままの設定でよい」は16.9%、「このままの設定でよいが、全体の保険料を上げ、困窮者分を下げる」は4.3%となっている。



表 2-35 介護保険料の設定について〔前回調査との比較〕

	調査数（N）	このままの設定でよい	が、このままの設定でよい 困窮者分を下げると上げる	低所得層の保険料を上げる、高所得層の保険料を下げる	その他	わからない	無回答
今回調査（平成19年）	1837	16.9	4.3	28.3	1.4	28.1	21.0
前回調査（平成16年）	1871	25.2	5.0	26.8	1.2	25.9	15.9

第1号被保険者の所得段階保険料の設定方法について前回調査と比較すると、「このままの設定でよい」は今回調査のほうが8.3ポイント低く、「所得で細かく設定し、高所得層の保険料を上げ、低所得層を下げる」は1.5ポイント高くなっている。

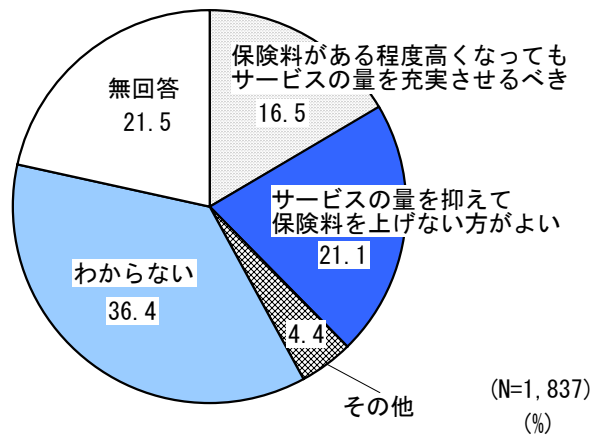
表 2-36 第1号被保険者保険料の所得段階区分別 介護保険料の設定方法について

	調査数（N）	このままの設定でよい	が、このままの設定でよい 困窮者分を下げると上げる	低所得層の保険料を上げる、高所得層の保険料を下げる	その他	わからない	無回答
第1段階（年額28,560円）	211	20.7	5.2	23.2	0.7	29.8	20.3
第2段階（年額28,560円）	181	16.7	6.1	38.9	1.1	24.2	13.0
第3段階（年額42,840円）	157	15.9	4.9	40.5	1.5	26.8	10.4
第4段階（年額57,120円）	281	18.9	2.5	42.0	3.5	21.0	12.1
第5段階（年額62,832円）	69	13.3	1.2	44.9	1.1	21.3	18.1
第6段階（年額71,400円）	105	29.9	5.4	34.3	0.3	17.1	13.0
第7段階（年額85,680円）	138	24.0	0.6	28.9	2.8	31.2	12.5
第8段階（年額99,960円）	23	39.0	7.1	18.6	-	8.3	27.0
第9段階（年額114,240円）	27	19.7	14.8	15.2	2.9	32.1	15.2
わからない	295	9.6	3.9	18.2	0.9	48.6	18.9
無回答	352	12.3	4.9	14.3	0.7	22.3	45.6
合計	1837	16.9	4.3	28.3	1.4	28.1	21.0

介護保険料の設定方法について第1号被保険者保険料の所得段階区分別にみると、第2段階～第6段階は「所得で細かく設定し、高所得層の保険料を上げ、低所得層を下げる」が3～4割台を占め最も多い。これに対し、第8段階は「このままの設定でよい」（39.0%）が最も多くなっている。

イ 今後の保険料のあり方について

図 2-53 今後の保険料のあり方について



今後の保険料のあり方としては、「サービスの量を抑えて保険料を上げない方がよい」が 21.1%で最も多く、「保険料がある程度高くなってもサービスの量を充実させるべき」は 16.5%となっている。

表 2-37 今後の保険料のあり方について〔前回調査との比較〕

	調査数 (N)	充実させるべき	保険料がある程度高くてもサービス量を充実させるべき	サービスの量を抑えて保険料を上げない方がよい	その他	わからない	無回答
今回調査 (平成19年)	1837	16.5	21.1	4.4	36.4	21.5	
前回調査 (平成16年)	1871	11.1	38.8	11.2	2.7	22.3	13.8

今後の保険料のあり方について前回調査と比較すると、「保険料がある程度高くなってもサービスの量を充実させるべき」は5.4ポイント高くなっている。

表 2-38 第 1 号被保険者保険料の所得段階区分別 今後の保険料のあり方について

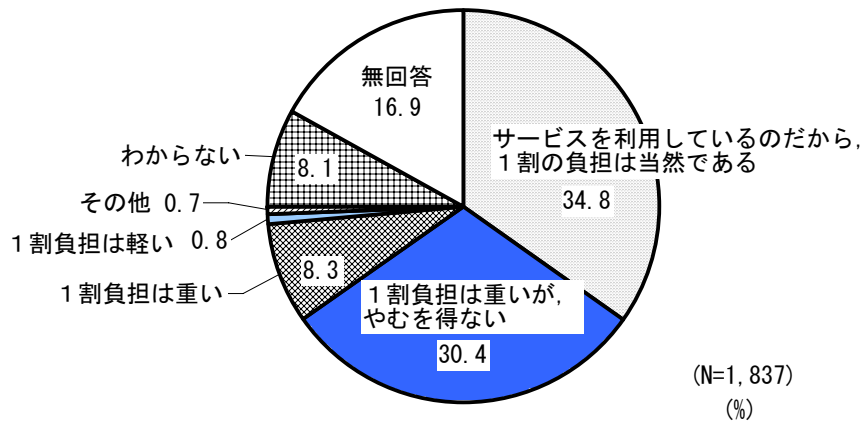
(%)

	調査数 (N)	保険料がある程度高 くてもサービスの高 量を充実させるべき	サービスの上 げを抑えて保 険料を上げない 方がよい	その他	わからない	無回答
第 1 段階 (年額 28,560 円)	211	11.2	21.1	5.1	42.2	20.4
第 2 段階 (年額 28,560 円)	181	22.6	22.2	5.0	36.7	13.5
第 3 段階 (年額 42,840 円)	157	23.0	26.4	4.0	33.8	12.8
第 4 段階 (年額 57,120 円)	281	19.3	26.0	5.7	33.7	15.3
第 5 段階 (年額 62,832 円)	69	14.5	27.8	8.1	27.1	22.6
第 6 段階 (年額 71,400 円)	105	18.5	34.1	4.5	25.4	17.6
第 7 段階 (年額 85,680 円)	138	15.8	25.2	6.4	40.7	11.9
第 8 段階 (年額 99,960 円)	23	33.5	19.1	-	26.8	20.5
第 9 段階 (年額 114,240 円)	27	33.0	17.8	11.5	22.5	15.2
わからない	295	10.0	15.6	2.3	54.7	17.4
無回答	352	14.5	12.7	3.0	26.0	43.8
合計	1837	16.5	21.1	4.4	36.4	21.5

今後の保険料のあり方について第 1 号被保険者保険料の所得段階区分別にみると、「保険料がある程度高くなってもサービスの量を充実させるべき」は第 8・9 段階で 30% 台と高く、「サービスの量を抑えて保険料を上げない方がよい」は第 6 段階 (34.1%) で最も高くなっている。

ウ 利用者負担について

図 2-54 利用者負担について



介護サービス利用料の1割負担については、「サービスを利用しているのだから、1割の負担は当然である」が34.8%と最も多く、「1割負担は重い、やむを得ない」も30.4%と多くなっている。

表 2-39 利用者負担について〔前回調査との比較〕

	調査数 (N)	サービスを利用しているのだから、1割負担は当然である	1割負担は重い、やむを得ない	1割負担は重い	1割負担は軽い	その他	わからない	無回答
今回調査 (平成19年)	1837	34.8	30.4	8.3	0.8	0.7	8.1	16.9
前回調査 (平成16年)	1871	43.8	29.8	6.5	1.8	0.9	8.7	8.6

介護サービス利用料の1割負担について前回調査と比較すると、「サービスを利用しているのだから、1割の負担は当然である」は前回より9.0ポイント低く、「1割負担は重い」は1.8ポイント高くなっている。

表 2-40 第 1 号被保険者保険料の所得段階区分別 利用者負担について

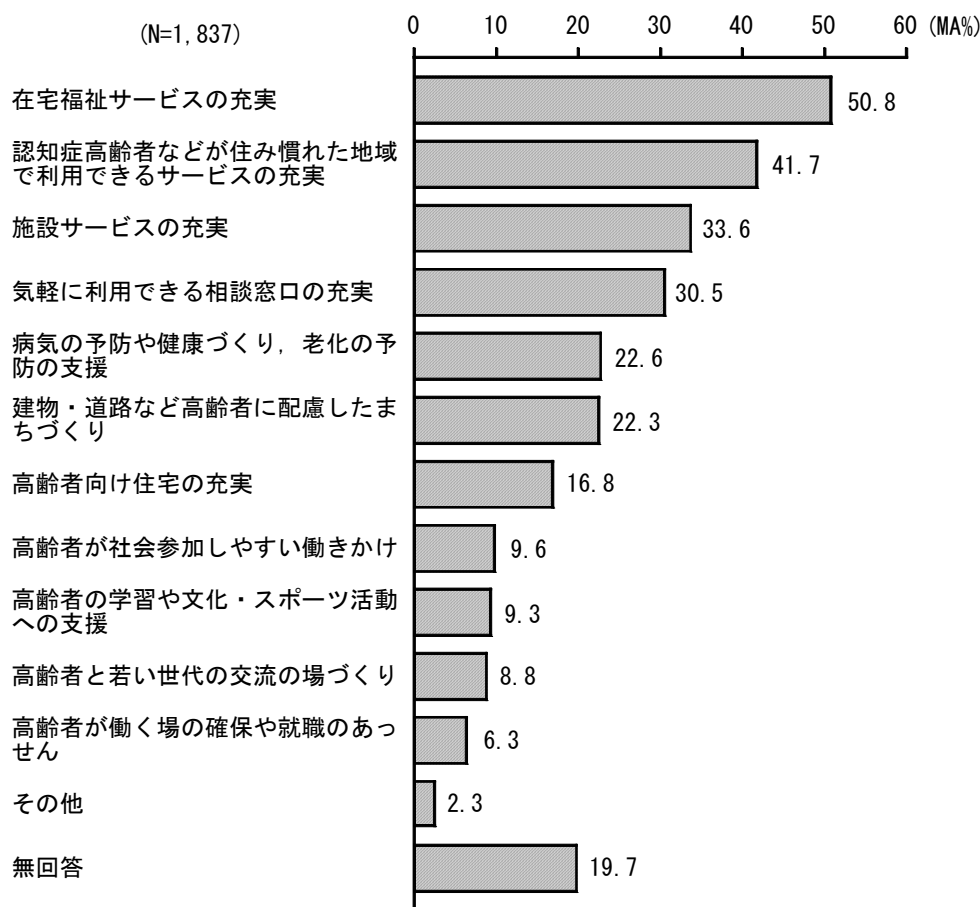
(%)

	調査数 (N)	負担は当然である 1割の負担	サービスの利用しているのだから、 1割の負担は重い が、やむを得ない	1割負担は重い	1割負担は軽い	その他	わからない	無回答
第1段階 (年額 28,560円)	211	25.3	29.4	7.1	1.8	1.2	19.9	15.3
第2段階 (年額 28,560円)	181	41.8	31.8	11.8	-	0.2	5.1	9.2
第3段階 (年額 42,840円)	157	29.8	46.4	7.3	-	1.0	3.7	11.8
第4段階 (年額 57,120円)	281	36.7	38.6	9.2	0.7	1.2	3.8	9.8
第5段階 (年額 62,832円)	69	37.6	37.6	8.2	1.1	-	5.2	10.3
第6段階 (年額 71,400円)	105	53.0	22.2	5.9	2.2	-	4.0	12.6
第7段階 (年額 85,680円)	138	51.3	29.8	3.5	-	-	3.3	12.0
第8段階 (年額 99,960円)	23	51.4	18.9	6.9	-	-	3.7	19.1
第9段階 (年額 114,240円)	27	52.9	21.9	1.5	4.2	-	-	19.5
わからない	295	30.5	29.4	8.9	0.6	0.9	14.1	15.5
無回答	352	26.3	20.4	9.9	0.8	0.5	7.4	34.8
合計	1837	34.8	30.4	8.3	0.8	0.7	8.1	16.9

介護サービス利用料の1割負担について所得段階区分別にみると、第2段階と第5段階以上では「サービスを利用しているのだから、1割の負担は当然である」が最も多く、第1・第3～5段階は「1割負担は重い、やむを得ない」が最も多くなっている。(第5段階は「サービスを利用しているのだから、1割の負担は当然である」と同率)

### (3) 高齢者保健福祉について充実を希望する施策

図 2-55 高齢者保健福祉について充実を希望する施策



高齢者保健福祉について今後充実を望む施策としては、「在宅福祉サービスの充実」が50.8%と最も多く、次いで「認知症高齢者などが住み慣れた地域で利用できるサービスの充実」(41.7%)、「施設サービスの充実」(33.6%)、「気軽に利用できる相談窓口の充実」(30.5%)の順となっている。

表 2-41 高齢者保健福祉について充実を希望する施策〔未利用者との比較〕

	調査数 (N)	在宅福祉サービスの充実	認知症高齢者などが住み慣れた地域で利用できるサービスの充実	施設サービスの充実	病気の予防や健康づくりの支援	高齢者が働く場の確保や就職のあっせん	高齢者が社会参加しやすい働きかけ	高齢者の学習や文化・スポーツ活動への支援	高齢者と若い世代の交流の場づくり	建物・道路など高齢者に配慮したまちづくり	高齢者向け住宅の充実	気軽に利用できる相談窓口の充実	その他	無回答
居宅サービス利用者	1837	50.8	41.7	33.6	22.6	6.3	9.6	9.3	8.8	22.3	16.8	30.5	2.3	19.7
居宅サービス未利用者	670	41.4	35.0	23.8	21.6	4.7	6.4	7.0	6.1	19.9	14.2	32.6	1.8	27.8

高齢者保健福祉について今後充実を望む施策について未利用者と比較すると、「気軽に利用できる相談窓口の充実」以外のいずれの項目も利用者の割合のほうが高く、特に「施設サービスの充実」で9.8ポイント高くなっている。

## 6 在宅介護の状況について

### (1) 介護者の続柄・年代

図 2-56 介護者の続柄

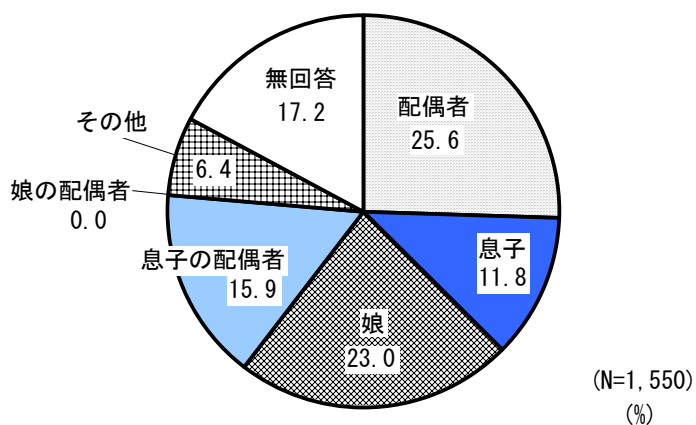
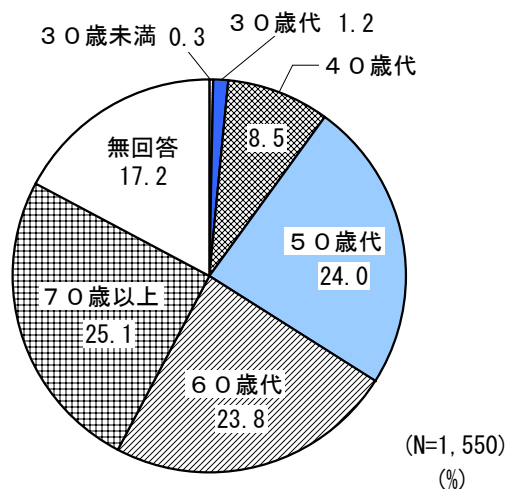


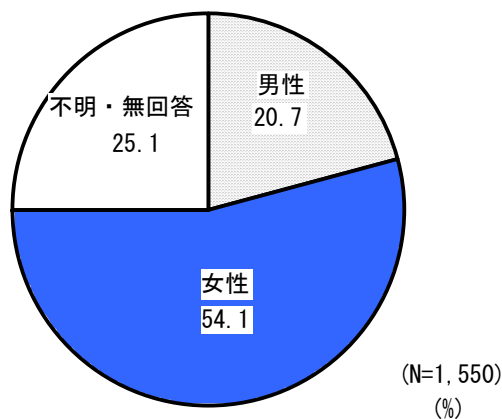
図 2-57 介護者の年代



調査対象者からみた介護者の続柄は、「配偶者」が25.6%と最も多く、次いで「娘」(23.0%)が多くなっている。

介護者の年代は、「70歳以上」が25.1%と最も多く、次いで「50歳代」(24.0%)、「60歳代」(23.8%)と、50歳以上が全体の72.9%を占める。

図 2-58 介護者の性別



※介護者の続柄と調査対象者の性別から判断。

介護者の性別は、「男性」が20.7%、「女性」が54.1%と、「女性」が半数を占める。

表 2-42 要介護度別 介護者の続柄

	調査数 (N)	配偶者	息子	娘	息子の 配偶者	娘の 配偶者	その他	無回答
要支援 1	68	20.4	10.2	19.9	11.7	0.5	11.2	26.2
要支援 2	180	25.6	12.8	18.0	10.4	-	5.2	28.0
要介護 1	253	15.4	8.4	30.8	18.9	-	7.0	19.6
要介護 2	476	25.4	15.1	21.5	16.1	-	8.3	13.7
要介護 3	273	33.2	8.1	18.7	19.6	-	4.7	15.7
要介護 4	190	27.4	11.2	26.1	14.5	-	4.6	16.2
要介護 5	110	31.8	14.8	27.7	12.9	-	3.8	9.1
合計	1550	25.6	11.8	23.0	15.9	0.0	6.4	17.2

介護者の続柄を要介護度別にみると、要介護 1 は「娘」が最も多いが、それ以外の要介護度では「配偶者」が最も多くなっている。

(2) 介護サービスの利用等にかかる意思決定者

図 2-59 介護サービスの利用等にかかる意思決定者

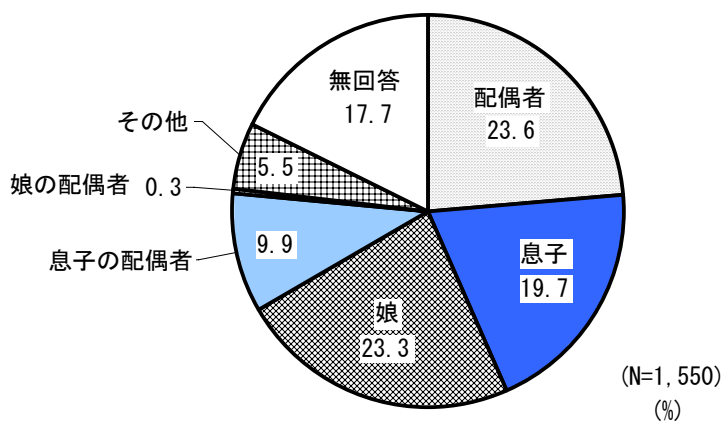
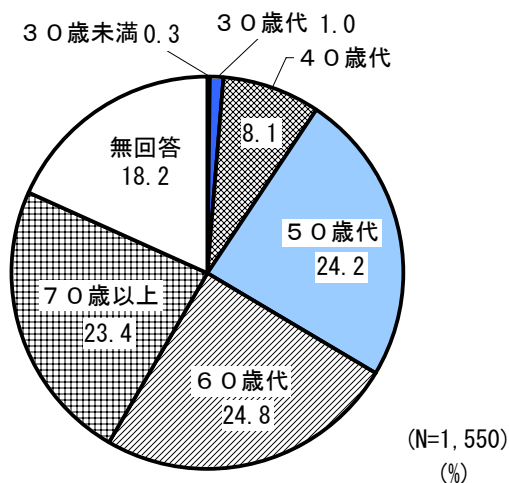


図 2-60 意思決定者の年代



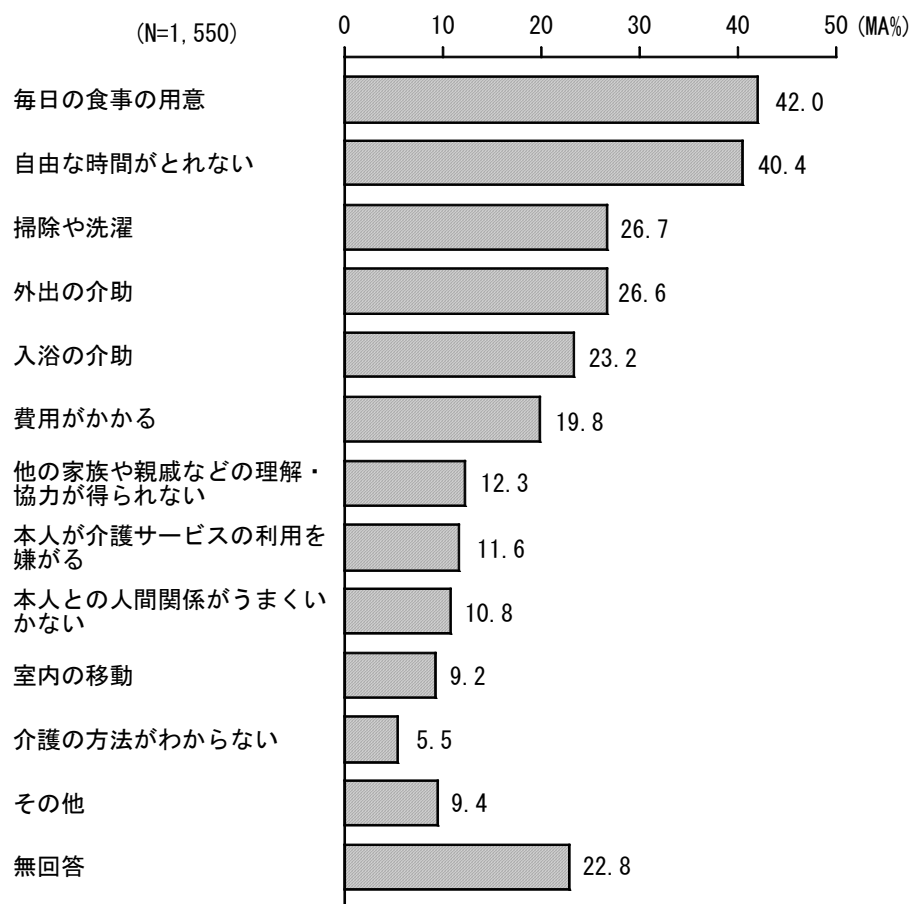
調査対象者がサービス利用する場合などの意思決定に最も関わっている人は、「配偶者」(23.6%)、「娘」(23.3%)、「息子」(19.7%)の三者が多くなっている。

この意思決定者の年代は、「60歳代」が24.8%と最も多く、次いで「50歳代」(24.2%)、「70歳以上」(23.4%)と、50歳以上が全体の72.4%を占める。



### (3) 在宅介護の負担について

図 2-61 家庭における介護で負担が大きいと感じること



家庭における介護で負担が大きいと感じる介護内容は、「毎日の食事の用意」「自由な時間がとれない」がともに40%以上と多く、「掃除や洗濯」「外出の介助」「入浴の介助」の各項目についても20%台と多くなっている。

表 2-43 要介護度別 家庭における介護で負担が大きいと感じること

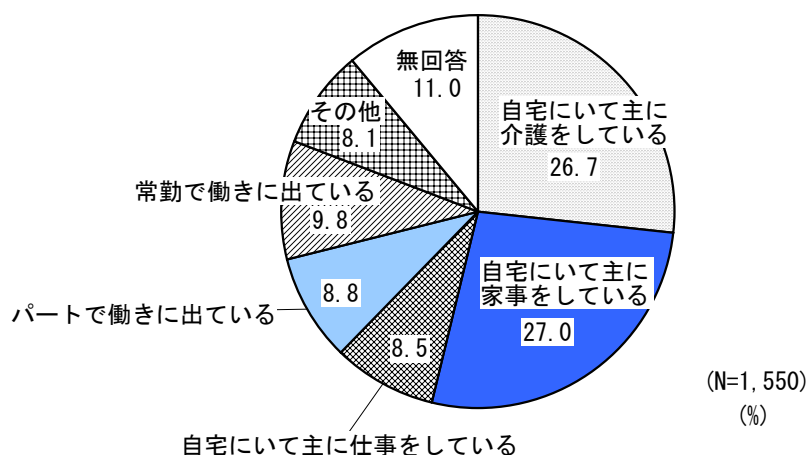
(MA%)

	調査数 (N)	毎日の食事の用意	自由な時間がとれない	掃除や洗濯	外出の介助	入浴の介助	費用がかかる	他の家族や親戚などの理解・協力が得られない	本人が介護サービスの利用を嫌がる	本人と人間関係がうまくいかない	室内の移動	介護の方法がわからない	その他	無回答
要支援1	68	30.1	18.4	24.3	15.5	11.7	8.3	5.8	7.3	5.8	3.9	1.9	6.8	40.8
要支援2	180	36.0	17.5	31.8	20.4	10.9	11.4	8.1	7.1	4.7	4.3	3.8	7.1	32.2
要介護1	253	36.4	31.5	17.5	20.3	14.7	17.5	14.0	7.7	10.5	-	7.0	4.2	28.7
要介護2	476	47.3	42.0	30.7	29.8	26.3	18.0	12.2	16.6	14.6	5.9	5.9	6.8	20.0
要介護3	273	43.8	48.9	26.4	31.9	29.8	23.8	14.5	11.9	12.8	13.6	5.5	15.3	18.3
要介護4	190	40.7	52.7	26.1	31.5	33.6	23.7	13.7	13.3	8.7	21.6	4.6	10.8	20.3
要介護5	110	46.2	63.3	26.1	23.5	22.3	36.7	11.4	5.3	6.4	24.2	6.8	21.2	10.6
合計	1550	42.0	40.4	26.7	26.6	23.2	19.8	12.3	11.6	10.8	9.2	5.5	9.4	22.8

家庭における介護で負担が大きいと感じることを要介護度別にみると、「毎日の食事の用意」は要介護2（47.3%）で最も高い。「自由な時間がとれない」や「費用がかかる」は要介護度が重度になるほど高くなる傾向がみられる。

#### (4) 介護者の昼間の生活状況

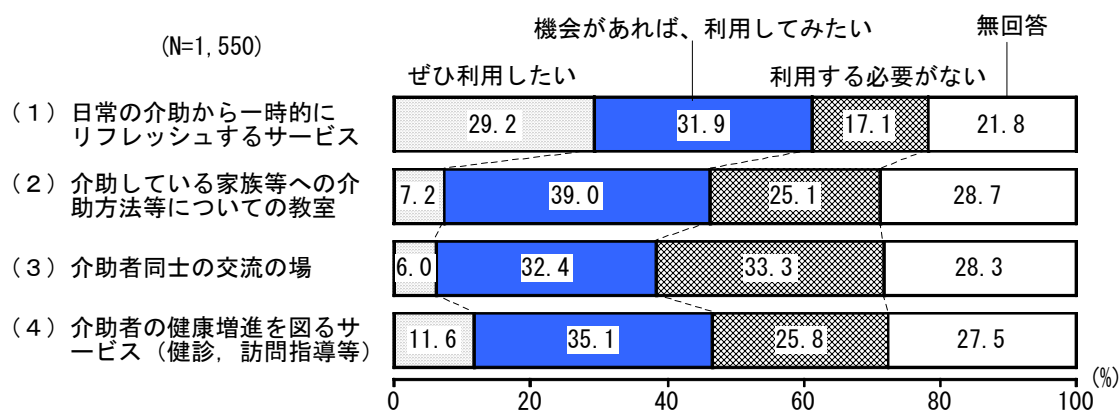
図 2-62 介護者の昼間の生活状況



介護者の昼間の生活状況をみると、「自宅にいて主に介護をしている」(26.7%) および「自宅にいて主に家事をしている」(27.0%) が多くなっている。

#### (5) 介護者支援施策に対する意向

図 2-63 介護者が利用したいサービス



介護者が利用したいと思うサービス(「ぜひ利用したい」に「機会があれば、利用してみたい」を加えた割合)としては、『(1) 日常の介助から一時的にリフレッシュするためのサービス』が61.1%と最も多くなっている。

## 7 自由意見

自由意見欄には、277人（記入率14.2%）から延べ364件の回答があった。回答内容の分類と件数は以下のとおりである。

<b>1 介護保険料の負担</b>	<b>25</b>
介護保険料が高い、介護保険料を安くしてほしい（区分の見直し、減免、天引き反対等）	19
介護サービスを利用していない人の介護保険料負担を軽くしてほしい（払い戻し、減免等）	3
介護保険料を負担することは当然である、やむを得ない	1
その他、介護保険料負担に関する意見	2

<b>2 サービス利用料の負担</b>	<b>17</b>
サービス利用料の自己負担が低所得者の負担にならないようにしてほしい（無料利用、減免等）	15
サービス利用料は、個人の資産に応じて負担額を決定すべきである	2

<b>3 介護保険制度全般</b>	<b>90</b>
家族介護をサポートしてほしい、介護者の立場に立ってほしい（精神面のケアや経済面等）	12
老老介護のサポートをしてほしい	12
介護保険に感謝している、今後期待している	9
制度の仕組みや利用方法、サービス内容、収支に関して等、情報提供を充実してほしい	9
利用しやすい制度にしてほしい（実態に即した柔軟な対応、手続の簡素化等）	8
公正な制度にしてほしい（事業者や利用者間で不正・不平等がないよう調査・監視する等）	7
相談窓口を充実させてほしい	6
サービス費用を見直してほしい	6
独居老人をサポートしてほしい	4
ケアマネジャーの書類作成費が高い	4
無駄や負担の少ない制度にしてほしい（財源の確保、税を重点的に配分する等）	2
介護保険には不満がある、反対、廃止してほしい	2
ケアマネジャーの質の向上を図ってほしい	1
その他、介護保険制度全般に関する意見	8

<b>4 要介護認定</b>	<b>6</b>
要介護認定基準を変えないでほしい（要介護から要支援等）	4
要介護認定は公正に行ってほしい	1
要介護認定に時間がかかりすぎる	1

<b>5 在宅サービスの充実</b>	<b>69</b>
デイサービスやショートステイ等，在宅サービスを充実させてほしい	19
同居家族がいてもサービスに差をつけないでほしい	11
在宅サービスに感謝している	10
訪問サービスを充実させてほしい	8
ショートステイを希望した時すぐに使えるようにしてほしい	8
在宅サービスに関わる人材の育成・質の向上を図ってほしい（ヘルパー等）	4
在宅サービスに関わる人材の待遇改善を図ってほしい	3
その他，在宅サービスの充実に関する意見	6

<b>6 施設サービスの充実</b>	<b>44</b>
施設の入所待ちの状況を改善してほしい（必要な時即入居出来るようにしてほしい等）	15
介護保険施設，病院を増やしてほしい（特別養護老人ホーム，老人保健施設等）	11
施設職員の待遇改善を図ってほしい	7
低料金で入所できる施設を整備してほしい	4
認知症ケアの施設を増やしてほしい	3
その他，施設サービスの充実に関する意見	4

<b>7 高齢者保健福祉施策について</b>	<b>13</b>
医療，医療費について	7
後期高齢者医療制度に反対である	4
高齢者保健福祉施策の内容を知らない，情報提供してほしい	1
その他，高齢者保健福祉施策に関する意見	1

<b>8 市行政について</b>	<b>20</b>
民生委員，老人福祉員について	3
国民健康保険について	3
国民年金について	3
税負担について	2
その他，市行政に関する意見	9

<b>9 アンケートについて</b>	<b>36</b>
設問内容に問題がある（設問数が多い，内容が難しく理解出来ない等）	21
実施時期を考えてほしい	2
有効に活用してほしい	1
その他，アンケートに関する意見	12

10 その他の意見	44
将来に不安がある，安心して老後を過ごせるようにしてほしい	8
福祉タクシー，バスの充実	7
自身の健康に配慮している	6
高齢者が外出しやすいよう，歩道や交通の整備をしてほしい	5
高齢者の体力づくり，交流の場がほしい	4
その他	14